

外観検査AI「Gemini eye」シリーズ 紹介資料

■ 会社概要

- ・ 会社概要
- ・ 取り扱い商品・サービス
- ・ こんな課題をお持ちのお客様にオススメです

■ Gemini eye

- ・ 特徴
- ・ 技術の特徴
- ・ 操作画面説明
- ・ 判定画像例

■ ハードウェア

- ・ GE-01
- ・ GE-02
- ・ GE-03
- ・ 機器選定

■ 導入プラン

- ・ タイプ別導入までの進め方
- ・ ① ライセンスプラン
- ・ ② ソフトウェア導入プラン
- ・ ③ 検査装置導入プラン
- ・ 追加オプション
- ・ 補助金サポート

■ 画像処理ソフトウェア

- ・ 画像処理ソフトウェア
- ・ 画像処理機能一覧、機能例

■ 参考資料

- ・ Gemini eye SV
- ・ Gemini eye Integration
- ・ Gemini eye for Edge
- ・ システム連携方式
- ・ 販売パートナー
- ・ 開発パートナー
- ・ 動作環境

会社概要

ミッション

使えるAIを皆様のもとへ
製造業向けに高精度な外観検査AIソリューションを提供

企業情報

商号	株式会社Pros Cons
所在地	東京都江東区富岡一丁目26番15号 飯田ビル5階A室
設立	2019年1月
資本金	650万円
代表者	代表取締役 安部 正一郎
事業概要	製造業向けAIソリューション、AIトレーニング、AIコンサルティング
メンバー数	10名(2024年10月 ※社外メンバー含む)

沿革

2019年1月	大手自動車系メーカー、東工大発AIベンチャーを経て、Pros Cons社設立
2020年4月	教師なし外観検査AI「Gemini eye」リリース
2020年11月	高速・高精度外観検査AI「Gemini eye SV」をリリース
2021年4月	AI外観検査装置「GE-01」リリース
2022年4月	複数画角の総合判定に対応をした「Gemini eye Plus」リリース
2024年2月	コアコンセプト・テクノロジー(グロース市場上場)社にグループイン

「いつもと違う」を教えてくださいの外観検査AI



Gemini eye

series

導入フロー

ヒアリング

Gemini eye のご紹介をすると共に、
どのようなご利用を想定しているかを確認します。

契約

正式なお見積、利用規約を送付します。
内容をご確認の上、ご入金、もしくは発注書の発行をお願いします。

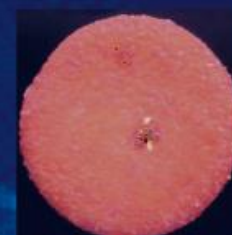
納品

①ソフトウェア ②USB ドングル ③取扱説明書 を
ご指定の場所に納品します。

導入

取扱説明書に従いセットアップをしてください。
完了後は、存分にご活用ください。

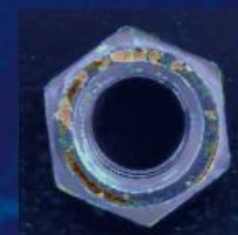
あらゆる製品に対応 あらゆる製品のさまざまな不良を検出します。



焼き菓子(焦げ)



ベアリング(錆び)



ナット(打痕)



木板(傷)



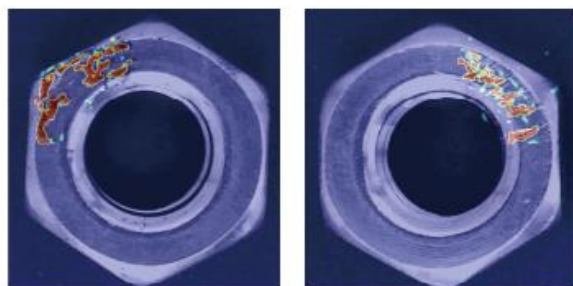
ゴムキャスター(切り傷)



ボタン(表面擦れ)



「いつもと違う」を
教えてくださいの外観検査AI



未知の不良に対して、しっかり検出。



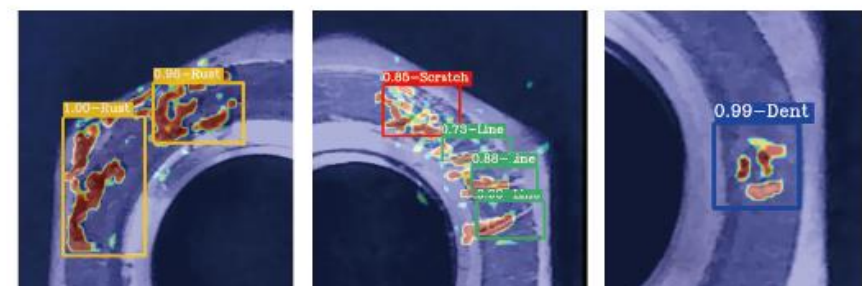
教えた不良は見逃さない。
高速・高精度外観検査AI



予め学習した不良を検出。



外観検査AIの決定版。
教師あり&なし統合外観検査AI



「未知」の不良と「既知」の不良を検出。



コンパクトで高性能な端末で
外観検査AIを運用



NVIDIA Jetson シリーズ、Intel Movidius Myriad に正式対応。
現場のニーズに合わせ、希望の製品にて運用ができます。

■ ソフトウェア



教師なし外観検査AI
「Gemini eye」基本と
なるソフトウェアです。



教師あり&なし統合外
観検査AI「Gemini eye
Integration」



複数画角の総合判定
に対応をした「Gemini
eye Plus」



教師あり外観検査AI
「Gemini eye SV」



エッジ端末での外観検
査AI「Gemini eye for
Edge」



物流向け高性能3D計
測ソリューション
「Gemini 3D sense」

■ ハードウェア



外観検査装置「GE-01」



外観検査装置「GE-02」



卓上検査装置「GE-03」



繊維・ロール検査装置

■ サービス

AIトレーニング

お客様に合わせ、トレーニン
グプログラムを設計、提供し
ます。

AIコンサルティング

外観検査AIのモデル作成や、
直面する実際の課題に対して
のソリューションのコンサル
ティングの提供を行います。

システム開発

外観検査に関するUIや既存
検査システムとの連携開発
などを行います。

こんな課題をお持ちのお客様にオススメです

「精度」の課題

- ✓ 不良品ではなく、**良品**を使って外観検査を行いたい
- ✓ **検出精度の高い**外観検査AIを導入したい



Gemini eyeなら、**良品を学習**するだけです。
独自の教師なしアルゴリズム(特許取得済)を利用し、
99%以上の不良を検出。大量の不良品データ収集
に明け暮れる必要はありません。

「機器」の課題

- ✓ ソフトウェアだけでなく、**ハードウェア**も合わせて提供してほしい



撮像機器選定から**検査装置**まで幅広く提案可能
です。設置済みの機器を最大限活かすことで費用を
抑えつつ、特定のベンダーに依存しない**最適な**
ハードウェア構成を提案をします。

「料金」の課題

- ✓ **見積もり金額**がなかなか出てこず、出てきた金額が**高かった**
- ✓ 導入までのステップ数が多く、**トータル金額が高すぎた**



ソフトウェアを**定額パッケージ**利用できるほか、予
算に合わせた**導入プラン**をご用意しています。また、
短期間で集中してプロジェクトに取り組むことで、
コストを抑えて高い品質の検査をご提供します。

「実現性」の課題

- ✓ テスト結果がもとに現場導入をしたが、**同じ精度が出ない**



「ラボでできる≠現場でできる」。当社は、現場の
撮像環境構築を行い、**そのまま導入が完了**する
仕組みを実現。導入失敗リスクの低減と共に、費用と
期間も抑えることができます。

Gemini eye

「いつもと違う」を教えてください 外観検査AI



ジェミニ・アイ
Gemini eye

Feature -1

良品のみで学習

良品のみで学習が可能。
不良品データの収集に明け暮れる
ことはありません。

Feature -2

少量のデータで学習

自社開発アルゴリズムにより、
少量のデータで学習が可能。
数個の学習から始められます。

Feature -3

4ステップで簡単導入

素材作成から実運用までわずか
4ステップ。AIの専門知識も、
多くの工数も必要ありません。

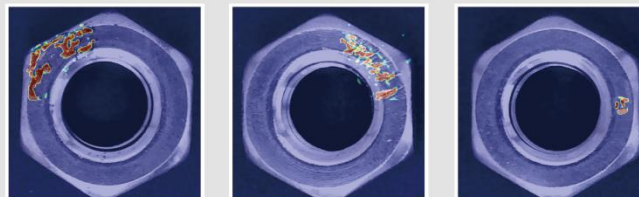
未知の不良に対して、しっかり検出。

AIが「いつもと違う」と判断した箇所をヒートマップで表示。

学習する良品



不良品判定



Jetsonシリーズが使えます。

NVIDIA社が提供する
Jetsonシリーズに
AIモデルを書き出して
お使い頂けます。





素材作成

- 動画や画像から自動で学習画像素材を生成
- 1000枚/分以上で高解像度画像の素材生成が可能※1,2



学習・検証

- 教師なしディープラーニング技術を利用
- 製造業向け異常検知に特化した独自アルゴリズム(特許取得済)



運用

- 動画、画像共に利用可能
- 30fpsの高速リアルタイム推論処理※3
- 軽量化技術により、Edge端末での運用も可能

※1 動作環境 OS : Windows 10 Pro, GPU : GeForce RTX 2070 SUPER 8GB, CPU : Intel Core i7-9700F, メモリ:16GB DDR4 SDRAM

※2 生成画像の解像度:1360x1360 px

※4 ※1の環境化において、HD画質のビデオを処理した場合の速度

操作画面説明

お手本画像を基に、学習用良品画像を自動で切り出し

素材作成

学習

検証

必須 切り出し画像

■ 画像を選択

C:\Users\ryofu\projects\Unsupervised_detection_2019_12\vi

どちらか必須

☒ 画像フォルダ

■ フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop\大量

☐ 動画ファイル

■ 動画を選択

C:\Users\ryofu\projects\Unsupervised_detection_2019_12\vi

必須 一致度のしきい値

50 %

必須 素材用画像フォルダ

■ フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop

リセット

作成

<



設定は6つのパラメータを選択するだけで完了

素材作成

学習

検証

必須 学習用画像フォルダ

フォルダを選択

C:\Users\shoic\projects\AImodel

追加学習

必須 追加学習用AIモデルフォルダ

フォルダを選択

C:\Users\shoic\projects\additional learning

必須 パラメータ選択

Grayscale

RGB

Depth 3

Channel 32

Epoch 25

Resize 7

Image Size 36

必須 AIモデル保存フォルダ

フォルダを選択

C:\Users\shoic\projects\AImodel

学習

リセット

学習中

中断する

残り 01時間16分36秒

① パラメータの選択

6つのパラメータを選択します。
マニュアル記載の推奨設定から始め、
検証ステップで精度を見ながら調整していきます。

② プルダウン設計

色情報除き、プルダウンで数値を選択します。予め用意された数値から選ぶため、細かい設定は必要ありません。

③ 学習時間

デモ動画のように500枚程度を学習させると、2時間前後で学習が終了します。

④ 追加学習

追加学習機能を利用して、追加で良品の学習をすることができます。



AIの精度を数値、グラフ、画像で多角的に検証

必須 AIモデルフォルダ

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop\gakushu_20200421174420

必須 検証対象フォルダ

☒ 良品

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop\gomtire_normal2

☒ 不良品

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\projects\Unsupervised_detection_2019_12\vid

必須 異常度のしきい値

250

必須 総面積のしきい値

0 px

必須 検証結果保存フォルダ

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop

検証

リセット

異常度の分布

異常度を越えた面積の分布

検証結果

4

検証開始時刻:2020-04-30 16:07:45

●サマリー

<総合>

総検査枚数 :203(枚)

総不正解枚数:0(枚), 不正解率: 0.0(%)

総検出時間 :24.5(秒)

検出時間 :0.12(秒/枚)

<良品>

良品枚数 :114(枚)

過検出枚数 :0(枚), 過検出率 :0.0(%)

不正解数 0/89 表示枚数に限りがあります。詳細結果は検証結果保存フォルダを確認してください

5

不良品画像

① 良品と不良品を検証

良品、不良品それぞれの検証が可能です。未検出は無いか、過検出は無いか一度に検証できます。

② しきい値の設定

異常度、異常度を越えた面積に対してしきい値を設定できます。検証結果を見ながら検査員の感覚に近い値に調整していきます。

③ ヒストグラム表示

異常度を良品、不良品別に色分けをしてヒストグラム表示をします。

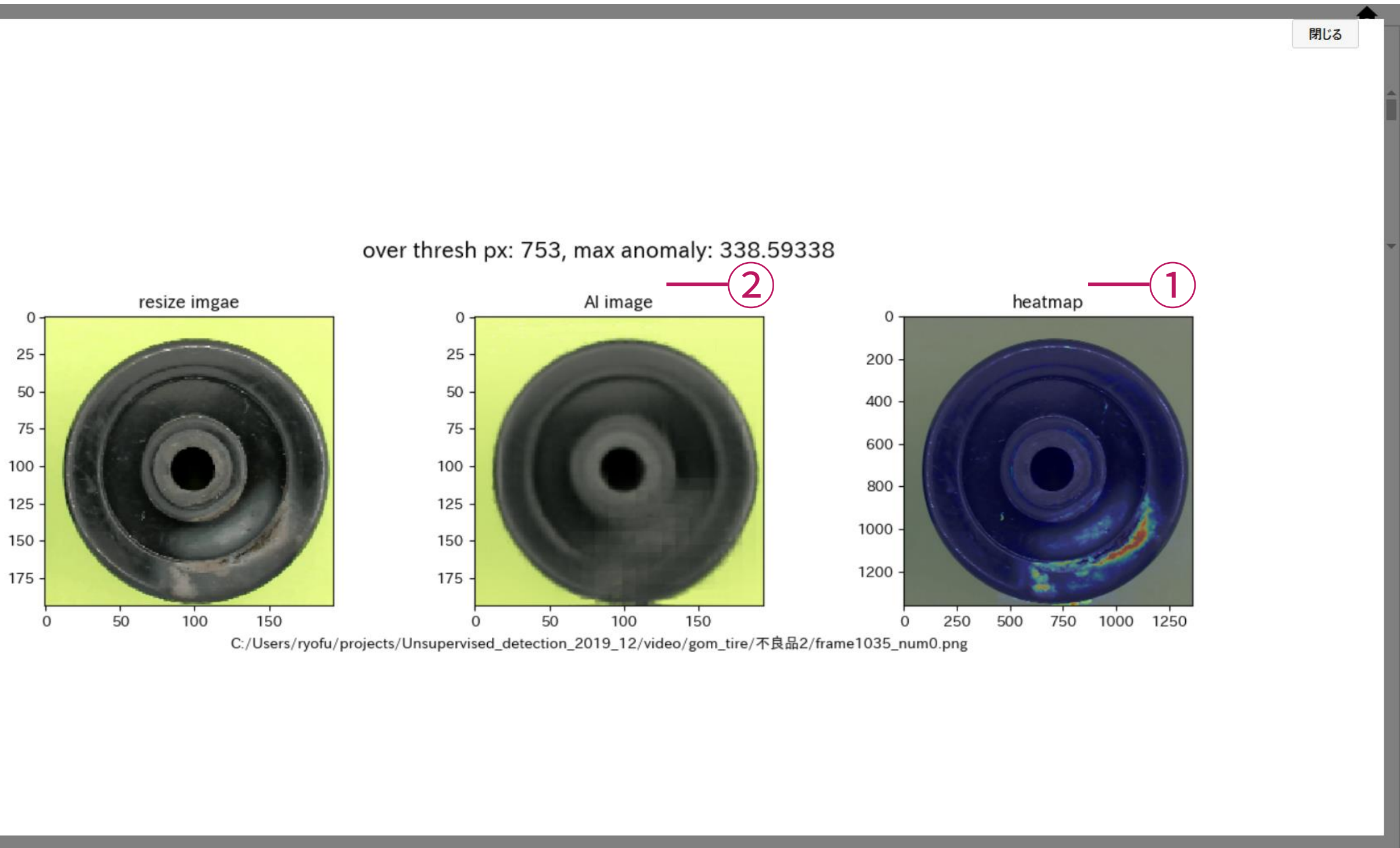
④ 見やすいサマリー

結果のサマリーを表示します。正解率を具体的な数字で確認できます。

⑤ サムネイル表示

AIがどこを見て判定をしたのかを画像で確認することが出来ます。検証結果保存フォルダからも確認ができます。

AIが異常と判断した箇所をヒートマップで表示



① ヒートマップ表示






AIが異常だと反応した箇所をヒートマップで表示します。青から赤くなるほど強い反応を示しています。

② AIが考える"あるべき姿"をAI imageで表示





AIが学習した良品画像を基に考える、"本来はこのような姿になるはずだ"という画像です。

皆さんが思う良品イメージと近い姿になっているか確認してください。全く違うイメージになっている場合、再学習が必要です。


検証結果を確認し、AIモデル改善に活かす

自動保存     result.csv  検索

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 アドイン ヘルプ チーム

B10  :    良品

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	Id	Input	Output	Judge	しきい値を超えた面積	異常値の最大値	元ファイル	保存先	
2	1	良品	良品	正解	0	141.92	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
3	2	良品	良品	正解	0	110.58	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
4	3	良品	良品	正解	0	116.08	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
5	4	良品	良品	正解	0	62.41	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
6	5	良品	良品	正解	0	95.23	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
7	6	良品	良品	正解	0	83.50	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
8	7	良品	良品	正解	0	115.06	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
9	8	良品	良品	正解	0	113.66	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
10	9	良品	良品	正解	0	97.75	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
11	10	不良品	不良品	正解	592	445.71	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
12	11	不良品	不良品	正解	597	445.76	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
13	12	不良品	不良品	正解	593	445.73	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
14	13	不良品	不良品	正解	601	445.50	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
15	14	不良品	不良品	正解	589	445.37	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
16	15	不良品	不良品	正解	593	445.87	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
17	16	不良品	不良品	正解	594	445.76	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
18	17	不良品	不良品	正解	353	278.49	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
19	18	不良品	不良品	正解	347	278.03	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
20	19	不良品	不良品	正解	333	277.24	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
21	20	不良品	不良品	正解	345	277.86	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
22	21	不良品	不良品	正解	349	278.46	C:/Users/ry	C:/Users/ry	
23	22	不良品	不良品	正解	347	277.07	C:/Users/ry	C:/Users/ry	

result 

result.log - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

検証開始時刻:2020-04-21 20:08:45

●サマリー

<総合>
総検査枚数 :203(枚)
総不正解枚数:0(枚), 不正解率:0.0(%)
総検出時間 :23.5(秒)
検出時間 :0.12(秒/枚)

<良品>
良品枚数 :114(枚)
過検出枚数 :0(枚), 過検出率 :0.0(%)

<不良品>
不良品枚数 :89(枚)
未検出枚数 :0(枚), 見逃し率 :0.0(%)

●学習モデルパラメータ
color :RGB
Depth :3
Channel:32
Epoch :25
Resize :7
Image Size:36

●検証パラメータ
異常度のしきい値 :250.0
面積のしきい値 :0
AIモデルフォルダ :C:/Users/ryofu/Desktop/gakushu_20200421174420/
検証結果保存フォルダ :C:/Users/ryofu/Desktop/
良品画像フォルダ :C:/Users/ryofu/Desktop/gomtire_normal2/
不良品画像フォルダ :C:/Users/ryofu/projects/Unsupervised_detection_2018/

< 6行、16列 100% Window

① 詳細

ヒストグラムで表示をしていた結果の詳細を1件ずつ確認することができます。正確な異常度を分析し、細かな調整に活用できます。

② サマリーログ

検証結果のサマリーを確認できます。結果だけでなく、AIモデルの学習パラメータも確認できます。



作ったAIモデルですぐに運用開始

運用モード

必須 AIモデルフォルダ

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Documents\gemini-eye_material\MVTech\#bottle\#AI

必須 テンプレート画像

ファイルを選択

C:\Users\ryofu\Documents\gemini-eye_material\MVTech\#bottle\#te

必須 監視方法

フォルダ監視

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop

カメラ監視

UCAM-C0220F

カメラ監視解像度

3480x2160

必須 一致度のしきい値

90 %

必須 異常度のしきい値

25

必須 総面積のしきい値

50 px

必須 判定ログフォルダ

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Documents\gemini-eye_material\MVTech\#bottle\#log

運用

リセット

②

① フォルダ or カメラ監視

1. 指定のフォルダに保存された画像をAIが判定する方法

2. 接続したカメラの映像をAIが判定する方法

の2通りから選べます。現場に合わせ、運用方法をご選択ください。

② 監視状況の可視化

カメラ監視中にはAIの判定の様子を確認できます。

良品は緑枠で、不良品は赤枠で判定されます。

リアルタイム監視で他システムとの連携も可能に

管理

AnomalyImages

共有

表示

ピクチャツール

1

<< gemini-eye_material > Tire > unyo_logs > unyo_20200430183147 > AnomalyImages

error_No_0.png

error_No_1.png

error_No_2.png

error_No_3.png

error_No_4.png

error_No_4.png

PNG ファイル

撮影日時: 撮影日の指定

大きさ: 1360 x 1360

サイズ: 1.25 MB

作成日時: 2020/04/30 18:37

1.25 MB

*operation.log - メモ帳

2

ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

[2020-04-30 16:31:50]-----運用開始[動画入力モード]-----

詳細

しきい値を超えた範囲: 342[px]

[2020-04-30 16:37:40] 不良品検知

詳細

しきい値を超えた範囲: 440[px]

[2020-04-30 17:02:33] 不良品検知

詳細

しきい値を超えた範囲: 247[px]

[2020-04-30 17:37:08] 不良品検知

詳細

しきい値を超えた範囲: 343[px]

[2020-04-30 18:11:44] 不良品検知

詳細

しきい値を超えた範囲: 509[px]

[2020-04-30 18:37:41] 不良品検知

<

26 行、28 列

100%

Windows (CRLF)

① 画像出力

不良品を検出した場合、リアルタイムで対象画像を出力します。
他システムからこのフォルダを監視することで、リアルタイムでスムーズな連携が可能になります。
PLC等の生産ラインシステムと連携をすることで、不良品検出後の自動停止が可能になります。

② ログ更新

オペレーションログもリアルタイムで更新します。ログの動きを監視することで他システムとの連携が可能です。

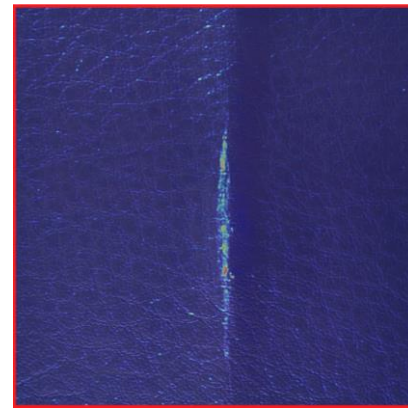
素材、製品を選ばず広くお使いいただけます。デモ動画はHPで公開しています。



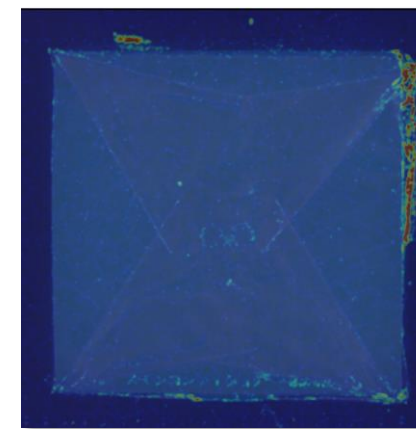
金属ベアリング



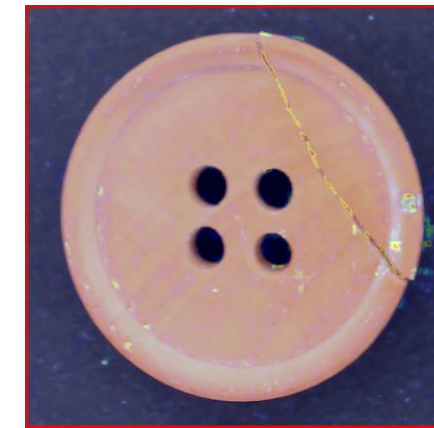
樹脂 端子台



レザー



包装フィルム



木製ボタン



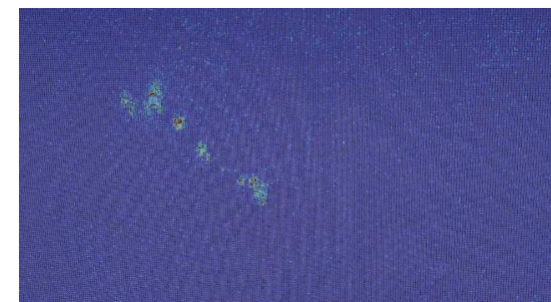
ガラス瓶



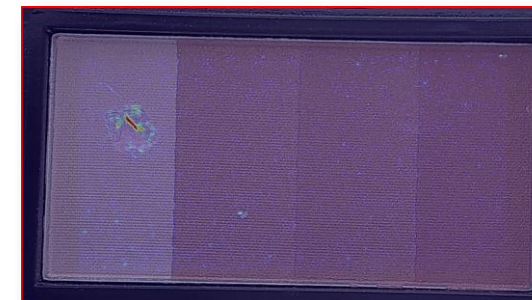
刻印入り金属片



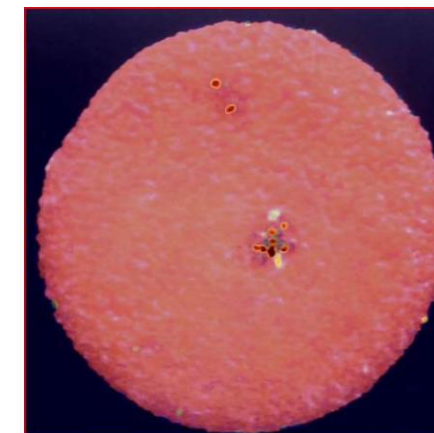
ゴムキャスター



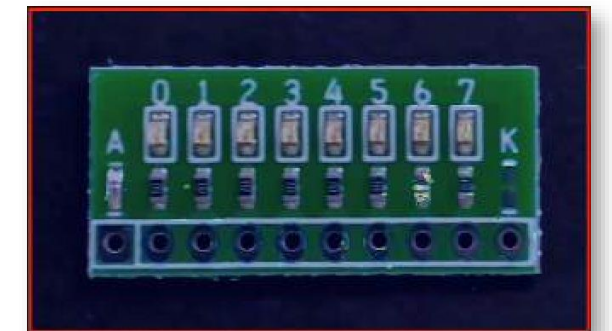
繊維ロール



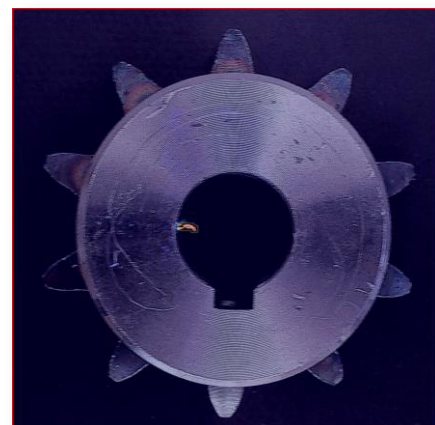
パウダーチーク



ケーキ



LEDユニット



金属ギア



木目塩ビシート



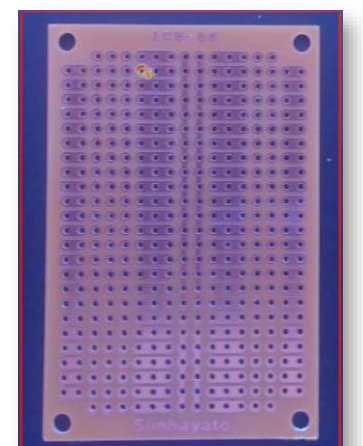
バンダナ柄布



鋲剤



玉ねぎ



ユニバーサル基盤 19

ハードウェア

諦めていたその自動化、AIで実現しませんか？

不可能を可能にする
次世代の **AI 外観検査装置**

GE-01



Feature -1

“いつもと違う”を教えてくれる 外観検査 AI Gemini eye

不良品を集める必要がなく、
数個の良品の学習から AI の利用が可能です。
複雑なルールを設定することも不良品データの
収集に明け暮れることもありません。

Feature -2

最高精度を誇る AI 技術

当社独自開発の教師なし
機械学習アルゴリズム(特許出願中)を搭載。
外観検査に特化した開発をすることで、
驚異の検出精度を実現しました。

Feature -3

高速ライン、複数画角の検査も 難なくカバー

最速 40ms の検査スピード※1 で
高速なラインも十分にカバーします。
最大 10 画角を同時検査ができ、
不良の見逃しはありません。

Feature -4

アップデートによる機能追加

日々追加される新機能や精度向上した
AI アルゴリズムを利用可能。
常に最先端の技術を利用することで外観
検査のレベルアップを図ることができます。

Feature+ 使いやすいゲート型検査機

どんな現場にもフィットするゲート型を採用。
製造ラインや検査ラインにスムーズに
組み込めます。

Feature+ 柔軟な構成変更

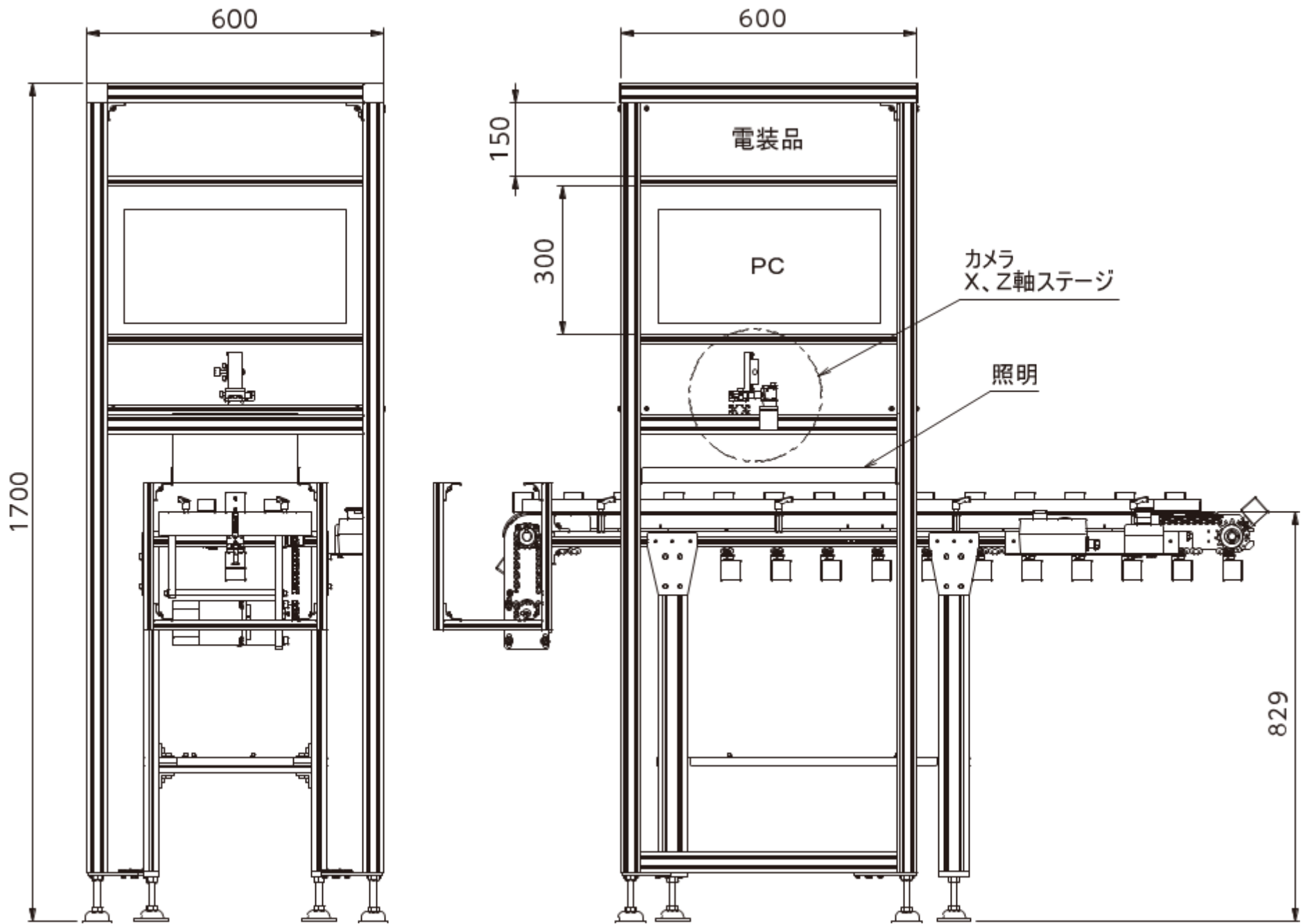
サイズや前後の機構追加などの仕様は、
導入するラインに合わせて自由に変更できます。

標準スペックをベースに、現場に合わせた設計が可能です。

GE-01 スペック

対象サイズ	最大 W200mm × L200mm × H100mm
検出能力	1.0mmの不良まで検出可能
装置外形	W600mm × L600mm × H1700mm
装置重量	約 25kg
装置構成	撮像機器一式 (エリアカメラ、照明、センサ)、 撮像機器取付治具、制御装置 (PLC)、 GPU 搭載 PC、モニタ、各種配線
電源供給	AC 100V
オプション	搬送ユニット、NG 排出ユニット、 フィーダユニット、表示器

G E-01 寸法図



多品種の登録も自由自在

品種登録

2021/10/15 10:11:22

■ 品種選択

アルミ製品 1

追加 変更 削除

アルミ製品 1

アルミ製品 2

アルミ製品 3

■ カメラ選択

カメラ 1

■ AIモデルフォルダ選択

フォルダ選択

■ テンプレート画像選択

ファイル選択

■ しきい値設定

一致度のしきい値

75

%

異常度のしきい値

100

面積のしきい値

15

px

■ カメラ遅れ時間

遅れ時間

100

msec

リセット

設定保存

① 製品の登録

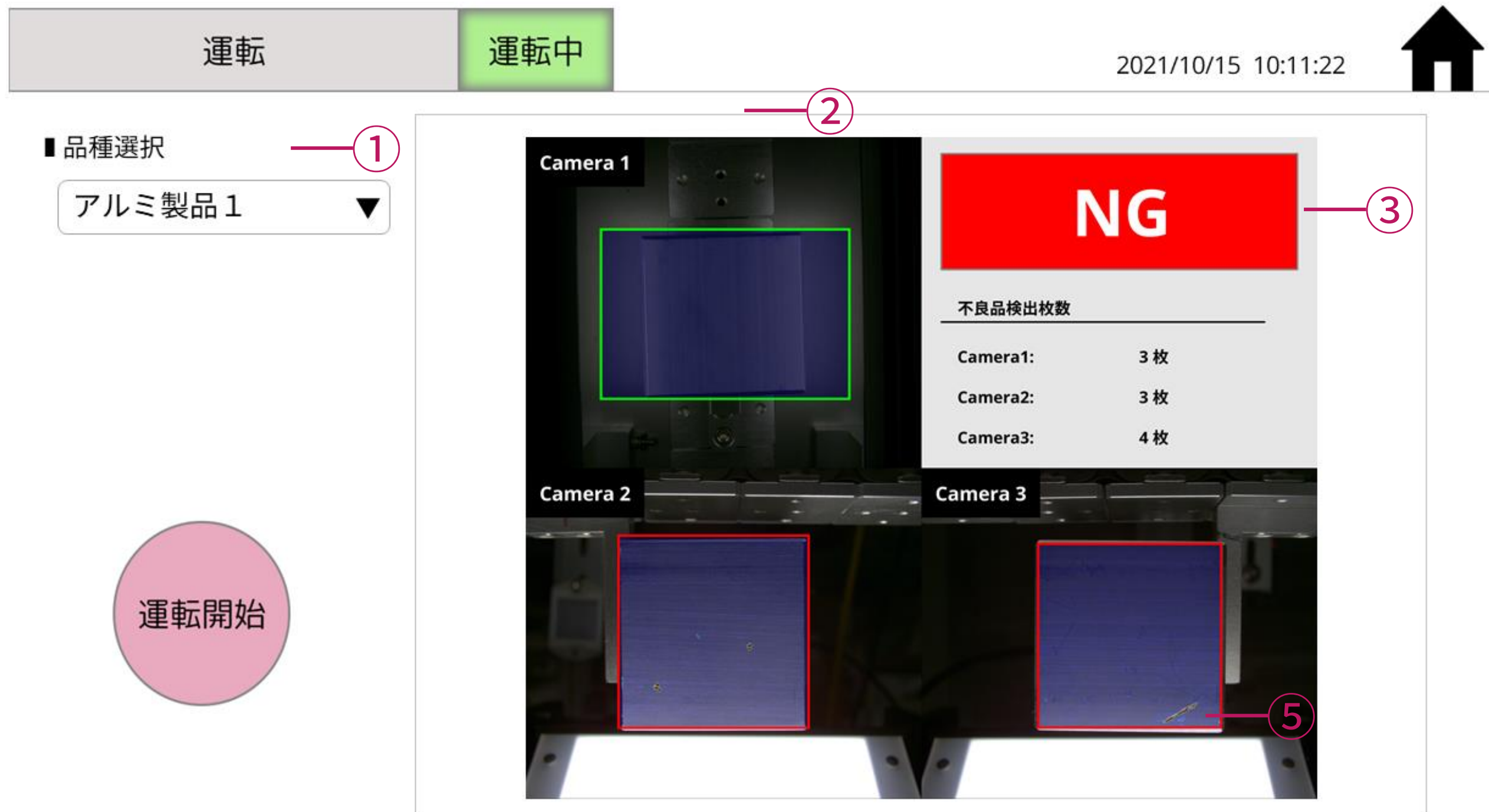
検査したい製品を予め登録します。登録数に制限はありません。

② カメラごとの設定

それぞれのカメラごとにAIモデルの選択やしきい値設定をします。設定の仕方はGemini eyeと同じため、迷うことはありません。

23

複数画角からの総合判定



The interface displays a top status bar with '運転' (Idle) and '運転中' (Operating) buttons, a timestamp '2021/10/15 10:11:22', and a home icon. On the left, a '品種選択' (Product Selection) dropdown menu is set to 'アルミ製品 1'. The main area shows three camera feeds: 'Camera 1' (top), 'Camera 2' (bottom left), and 'Camera 3' (bottom right). Each feed has a red bounding box around the inspected area. To the right of the feeds, a large red box displays 'NG' (Not Good). Below this, a table shows the number of defective products detected by each camera.

不良品検出枚数	
Camera1:	3 枚
Camera2:	3 枚
Camera3:	4 枚

A pink circular button labeled '運転開始' (Start Operation) is located at the bottom left.

① 簡単な製品切り替え

プルダウンで選択するだけで検査する製品を簡単に切り替えることができます。

② 判定結果の表示

それぞれのカメラの判定結果を大きく表示します。

③ 総合判定

それぞれのカメラの判定結果を合わせ、総合判定をします。



コンパクトに外観検査 AI を導入。

半自動型
AI 外観検査装置

GE-02

Feature -1

**“いつもと違う”を教えてくれる
外観検査 AI Gemini eye**

不良品を集める必要がなく、数個の良品の学習から AI の利用が可能です。複雑なルールを設定することも不良品データの収集に明け暮れることもありません。

Feature -2

最高精度を誇る AI 技術

当社独自開発の教師なし機械学習アルゴリズム(特許出願中)を搭載。外観検査に特化した開発をすることで、驚異の検出精度を実現しました。

Feature -3

**高速ライン、複数画角の
検査も難なくカバー**

最速 40ms の検査スピード※1で高速なラインも十分にカバーします。最大 10 画角を同時検査ができ、不良の見逃しはありません。

Feature -4

アップデートによる機能追加

日々追加される新機能や精度向上した AI アルゴリズムを利用可能。常に最先端の技術を利用することで外観検査のレベルアップを図ることができます。



Feature + 扱いやすい半自動型検査機

検査ラインの改造なく、AI 外観検査を導入いただけます。

Feature + 柔軟な構成変更

対象に合わせ、カメラの数や画角をカスタマイズできます。

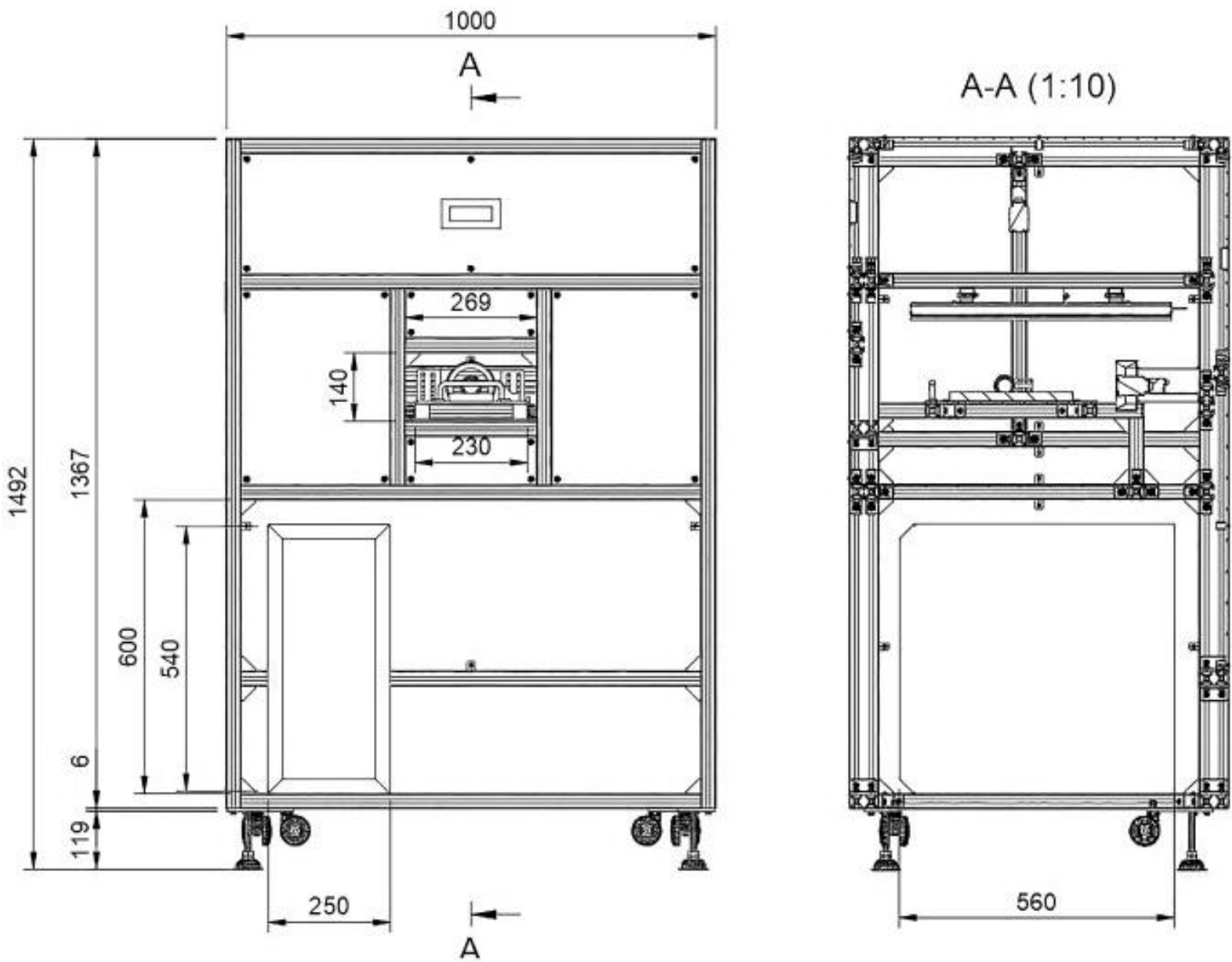
※1 500x500 の画像を検査した場合

標準スペックをベースに、現場に合わせた設計が可能です。

GE-02 スペック

対象サイズ	最大 W150mm × L250mm × H100mm
検出能力	1.0mmの不良まで検出可能
装置外形	W1000mm × L800mm × H1500mm
装置重量	約 100kg
装置構成	撮像機器一式 (エリアカメラ、照明)、 撮像機器取付治具、 GPU 搭載 PC、 モニタ
電源供給	AC 100V

GE-02 寸法図



安定した撮像環境

四方を囲い外乱光の影響を受けない環境で撮像をします。



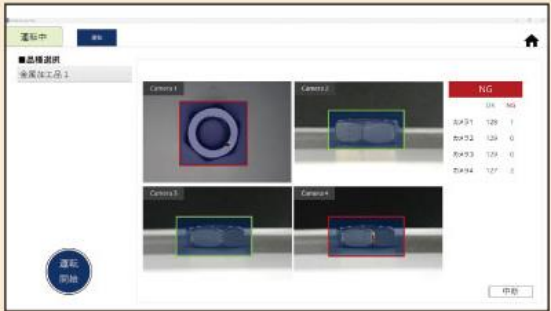
ワークの出し入れ

手動でワークの出し入れをします。
大きさに合わせてカスタマイズ可能です。



複数画角からの総合判定

それぞれの画角を総合的に判定し、NG 判定を行います。



0.1mmの微細な欠陥を高精度でAI検査。

卓上AI外観検査装置 GE-03



Feature -1

微小な欠陥も簡単にAI検査

0.1mmの欠陥の検査も卓上で簡単に実現できます。電子基板や細かいデザインパターンがある製品の検査に最適です。

判定結果画面。
大きな画面で
判定結果が確認
できます。



Feature -2

過検出を抑えてしっかり検出

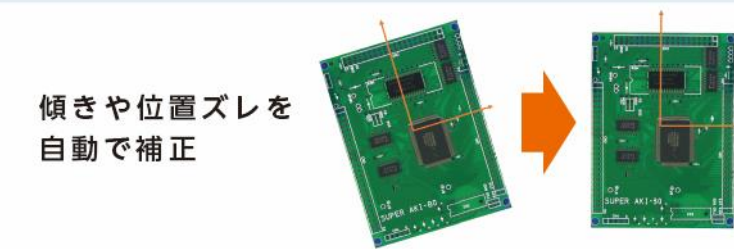
従来の画像処理手法では抑えることが難しかった過検出も、数十枚の良品をAIが学習することで最低限に抑えられます。画像処理手法と比べ、過検出を1/10以下に低減することに成功しました。



Feature -3

自動位置補正

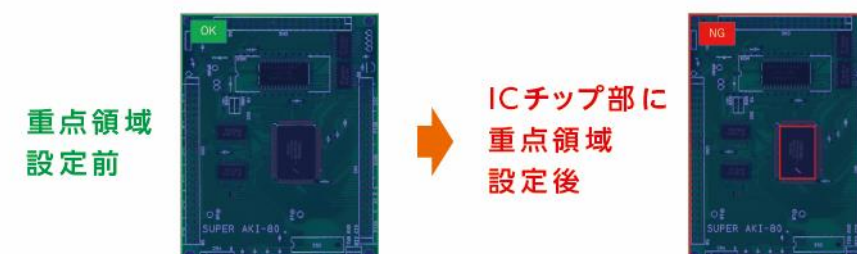
ステージに置かれた製品の位置ズレを自動で補正します。AIに検出させる前の位置回転ばらつきを減らすことで、安定的で高精度な検査を実現しています。



Feature -4

領域ごとの検査基準

検査領域ごとに検査基準を設定できます。
特定の領域を厳しく、緩くなど自在に設定可能です。



領域毎の検査
基準設定画面。
簡単に設定が
できます。



「画像処理 × AI」で過検出の激減を実現。

繊維・ロール検査装置



Feature -1

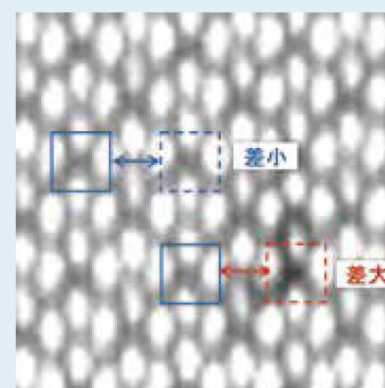
画像処理 × AI

従来の画像処理検査では、良品のパラツキに対処できず、大量の過検出に悩まされていました。当社では、画像処理の欠陥候補を改めてAIで判定する2段階検査を採用。これにより、過検出を1/10以下に低減することに成功しました。

Feature -2

周期パターン解析アルゴリズム

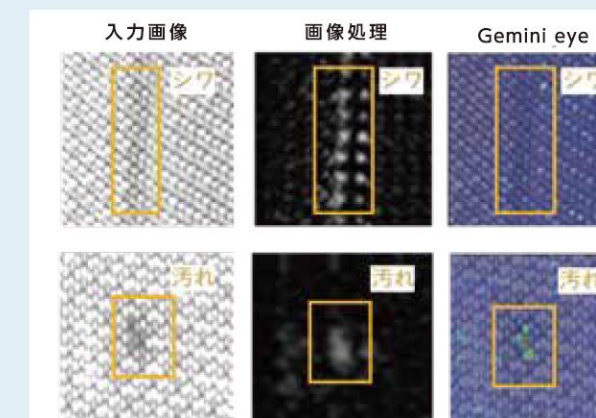
対象物の周期パターンを自動で解析するアルゴリズムを開発。数%程度の微細な変化に左右されず、変化の大きい部分だけの検出を実現しました。高精度を実現するため、現存するアルゴリズムにとらわれず、お客様の課題にあった開発を行います。



Feature -3

高精度を実現する良品学習 AI

「“少しの違い”は良品としたい。」というニーズが多い一方で、画像処理だけでは難度の高いしきい値調整が要求されます。外観検査 AI Gemini eye は、良品を学習することで良品以外（＝不良品）だけを検出するため、併用をすることで傾きや歪みといった“少しの違い”には反応せず、汚れや傷だけを検出させることができます。



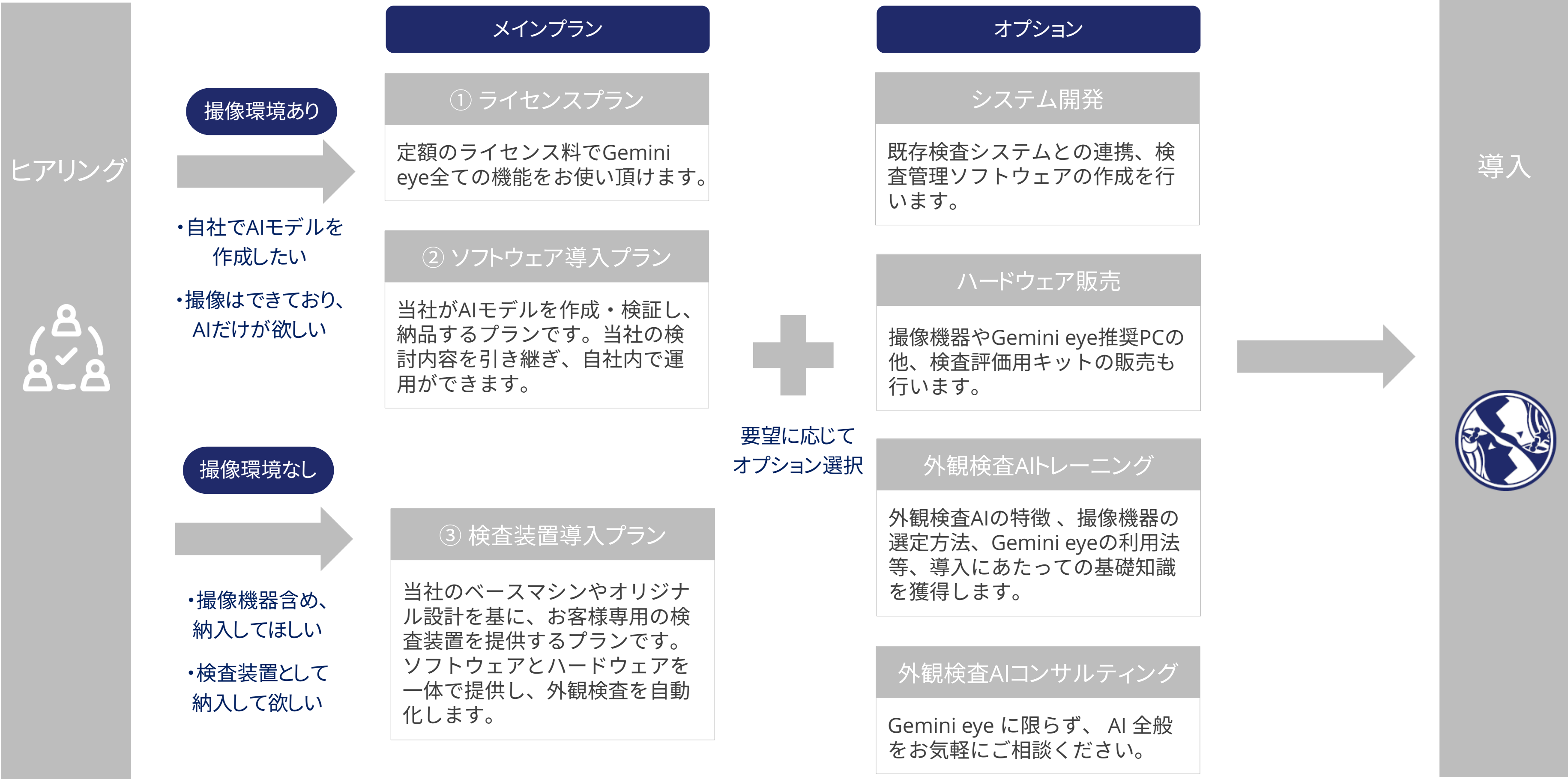
お客様の製造ラインに合う光学機器、設備の提供体制を整えています。

■ 主な取り扱いメーカー

機器・設備	メーカー
カメラ	 SENTECH  HIKROBOT  ...他
レンズ	VS TECHNOLOGY  ...他
照明	 U-TECHNOLOGY   ...他
治具	製作内容に応じて業者を選定します。
設備	製作内容に応じて業者を選定します。

導入プラン

タイプ別導入までの進め方



①ライセンスプラン



	1年間	永続型
概要	Gemini eyeシリーズをお使い頂くためのライセンスです。	Gemini eyeシリーズの買い切り型のライセンスです。
料金	95万円 / ID (1画角) 110万円 / ID (2~10画角)	350万円 / ID (1画角) 400万円 / ID (2~10画角)
パッケージ内容	Gemini eye、Gemini eye SV、 Gemini eye Integration	Gemini eye、Gemini eye SV、 Gemini eye Integration
アップデート	常に最新のアップデートを利用可能	アップデートなし
作成可能モデル数	制限なし	制限なし
利用可能PC数	制限なし	1台 (申請によりPC変更可)
提供物	Install Disk、USB dongle	Install Disk、USB dongle
保守サポート	30万円 / 年 (契約必須)	30万円 / 年

- ※ 初回契約手数料:初めてご契約する場合、初回契約手数料20万円がかかります。
- ※ 保守サポートについて: ご利用の際は必ず、「保守・サポート」(30 万円 / 年)も合わせてご契約頂きます。 内容は右記URLより確認できます。<https://proscons.co.jp/terms/>
- ※ 永続型ライセンスの保守サポートについて: 永続型ライセンスご購入時にサポート契約をせず、後日保守サポートを利用する場合は、再契約料金が適用されます。再契約料金は、当初からサポートが注文されていたれば請求されるべき料金の130% となります。

①ライセンスプラン_導入までのフロー

年間95万円でGemini eyeの全ての機能をお使いいただけます。
ご契約後1週間程度で利用開始できます。

STEP 1	紹介ミーティング (1時間) Gemini eyeの機能の紹介や操作デモ、検出デモ動画などをご 紹介します。
STEP 2	見積提案/契約 (1週間) お見積書を発行します。ご発注手続きをお願いします。
STEP 3	AIモデル作成 (1～8週間) Gemini eye、Gemini eye SVなど全ての製品の利用が可能です。 機能の制限なく、自由に利用ができます。
STEP 4	AI運用 外観検査AIの運用を開始。

② ソフトウェア導入プラン

AIモデル作成・検証、ライセンスのセットプランです。本格的な検討を行います。

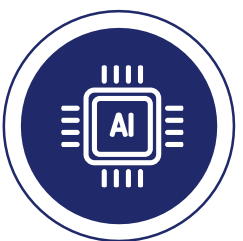
ソフトウェア セット



AI作成・検証



レポート



AIモデル



パラメータ



6ヶ月ライセンス



保守・サポート

6ヶ月

AIモデル作成・検証

当社でAIモデルを作成し、不良検出の検証を行います。

希望に応じ、不良サイズ判定ロジックや非検査領域設定などの画像処理の検討も行います。

レポート・AIモデル・パラメータ

作成したAIモデル、検証をした設定パラメータを納品します。

当社で検証した内容、設定を引き継ぐことで、お客様内で検査の再現が可能となります。

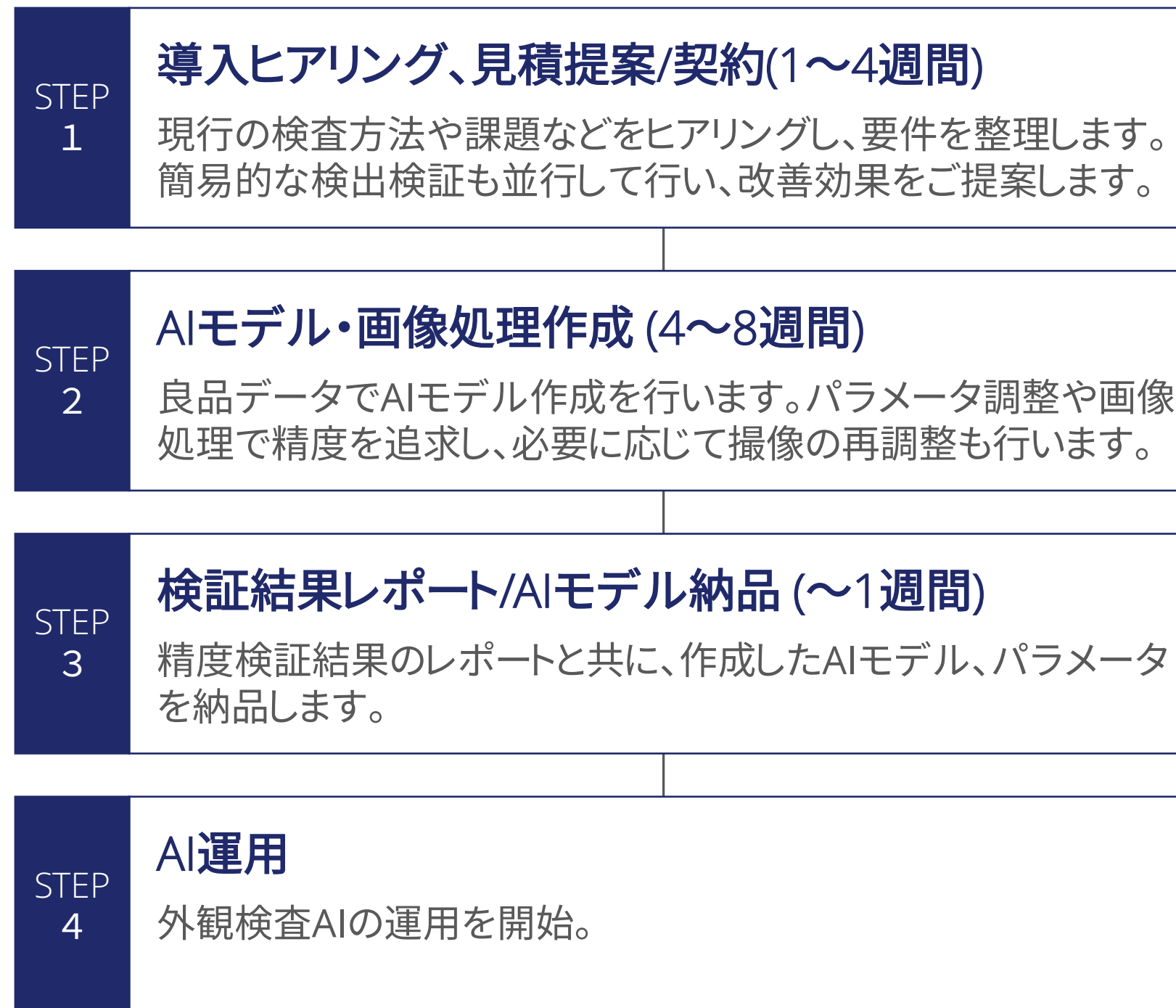
ライセンス・サポート

6ヶ月のGemini eye利用ライセンス、保守・サポートが付いています。

納品されたその日から検査を開始することができます。

②ソフトウェア導入プラン_導入までのフロー

プロジェクト開始から最短1ヶ月でAIモデルの作成、納品が完了します。
既存システムへの連携やUIの開発もご提案します。



③ 検査装置導入プラン

ソフトウェア導入プランに加え、検査装置の導入を行います。



製品に合わせたご提供

当社のベースマシンやオリジナル設計を基に、お客様専用の検査装置を提供するプランです。
搬送やNG排出、フィーダーユニットなどの取り付けも希望に合わせ承ります。

高速ライン、複数画角の検査も難なくカバー

最速40ms の検査スピード※1 で高速なラインも十分にカバーします。
複数画角の同時検査もでき、不良の見逃しはありません。

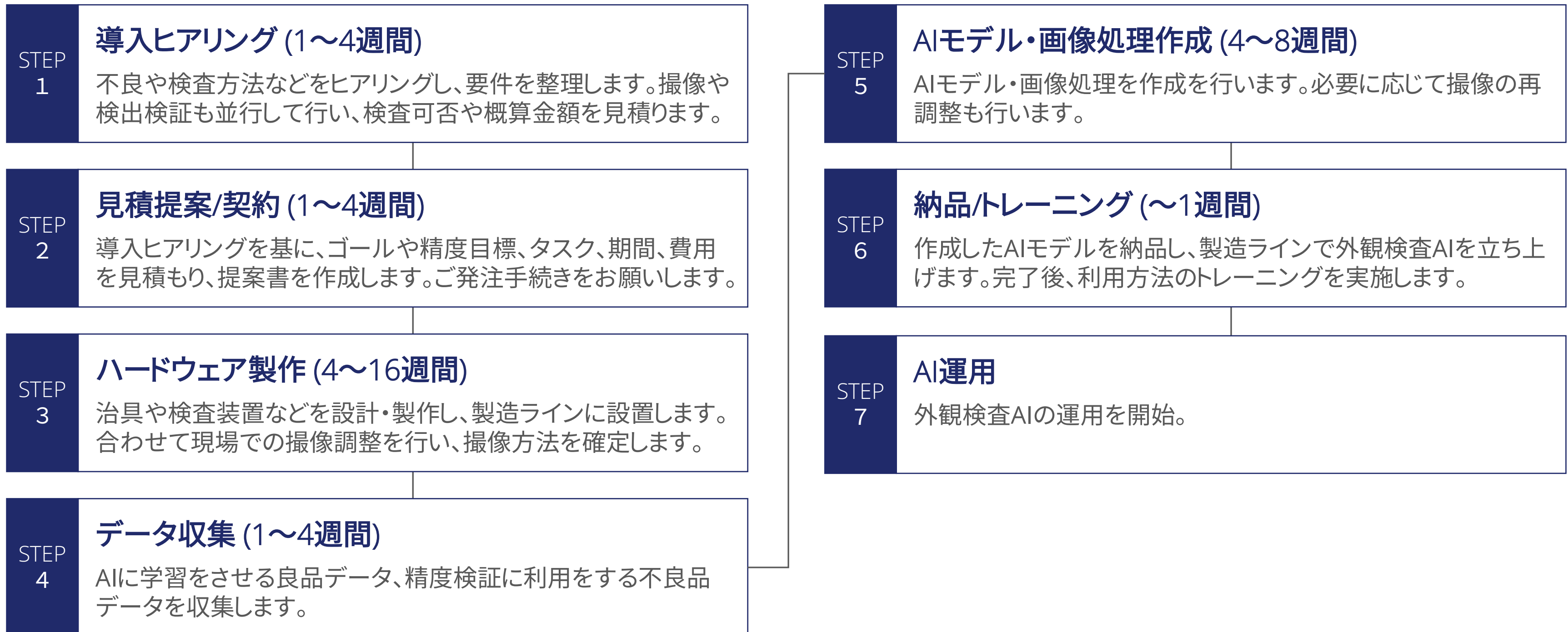
アップデートによる機能追加

日々追加される新機能や精度向上したAI アルゴリズムを利用可能。
常に最先端の技術を利用することで外観検査のレベルアップを図ることができます。

※ 1 500x500 の画像を検査した場合

③検査装置導入プラン_導入までのフロー

一気通貫に導入を進めることで、低コスト、短納期化を実現。
プロジェクト開始から最短3ヶ月で外観検査AIの導入が完了します。



商品	説明	料金（税抜）
利用講習会	マニュアルに沿った操作方法説明や、調整のコツ等をお伝えする講習会です。	15 万円 / 回
推奨PC	Gemini eyeを快適にご利用頂ける推奨PCです。 ※スペック、価格はメーカー在庫により変動します。都度お見積りします。	30 万円程度 / 台
キッティング	正しくご利用を頂くためのCUDA、C++等の環境設定作業をします。 ※必ず推奨PC購入と合わせてのご利用をお願いします。	5 万円 / 台
システム開発	既存検査システムとの連携、検査管理ソフトウェアの作成を行います。	要見積り
外観検査AIトレーニング	外観検査AIの特徴、撮像機器の選定方法、Gemini eyeの利用法等、導入にあたっての基礎知識を獲得します。	要見積り
AIコンサルティング	ニーズに合わせてAIやシステムの導入コンサルティングを行います。 Gemini eyeに限らず、AI全般をお気軽にご相談ください。 ・ AIを利用したシステム開発を行ってほしい ・ AIプロジェクトを推進する上で、技術的なアドバイスをしてほしい ・ 撮像機器の選定や環境整備を行ってほしい ・ データを用いてAI検証を行ってほしい ...等	要見積り

ものづくり補助金や事業再構築補助金等の申請をサポートします。



書類作成サポート



補助金申請サポート



採択後報告サポート



成果報酬型料金

当社製品をご検討の方限定で、提携コンサルティング会社の紹介、個別の申請サポートをご利用いただけます。
申請資料作成の手間を大きく削減でき、採択率も大幅に向上するため、ご興味のある方はお気軽にお申し込みください。

料金：【着手金】10万円＋【成功報酬】補助決定額の10%（最低報酬70万円）
【採択後フォロー】別途お見積り

【例】事業再構築補助金

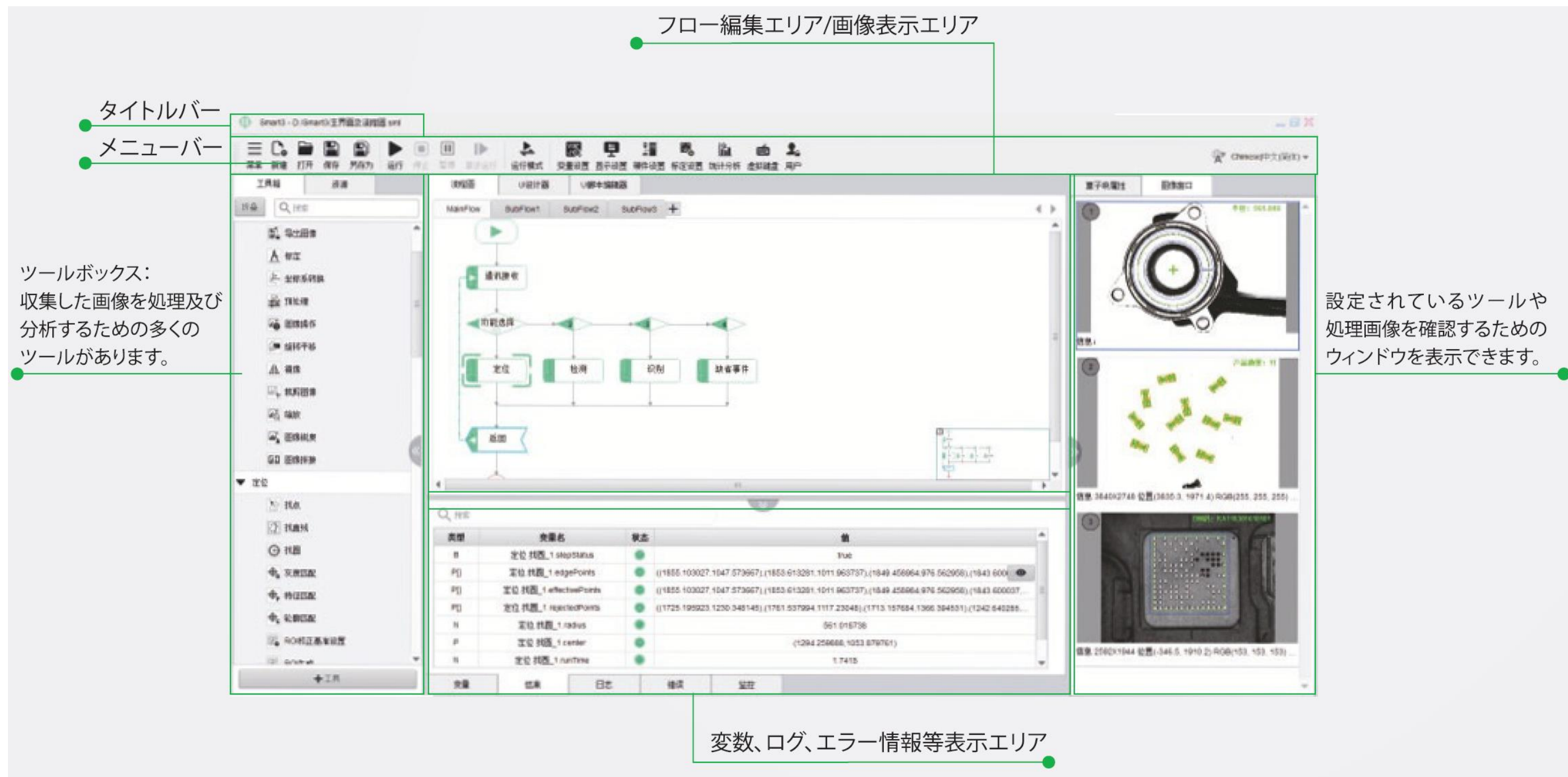
従業員	補助額	補助率
20人以下	100万円～2,000万円	中小企業：2/3 (6,000千万超は1/2) 中堅企業：1/2 (4,000千万超は1/2) ※中小企業：資本金3億円以下 or 従業員200人以下 中堅企業：資本金10億円以下
21人～50人	100万円～4,000万円	
51人～100人	100万円～6,000万円	
101人以上	100万円～8,000万円	

【例】ものづくり補助金

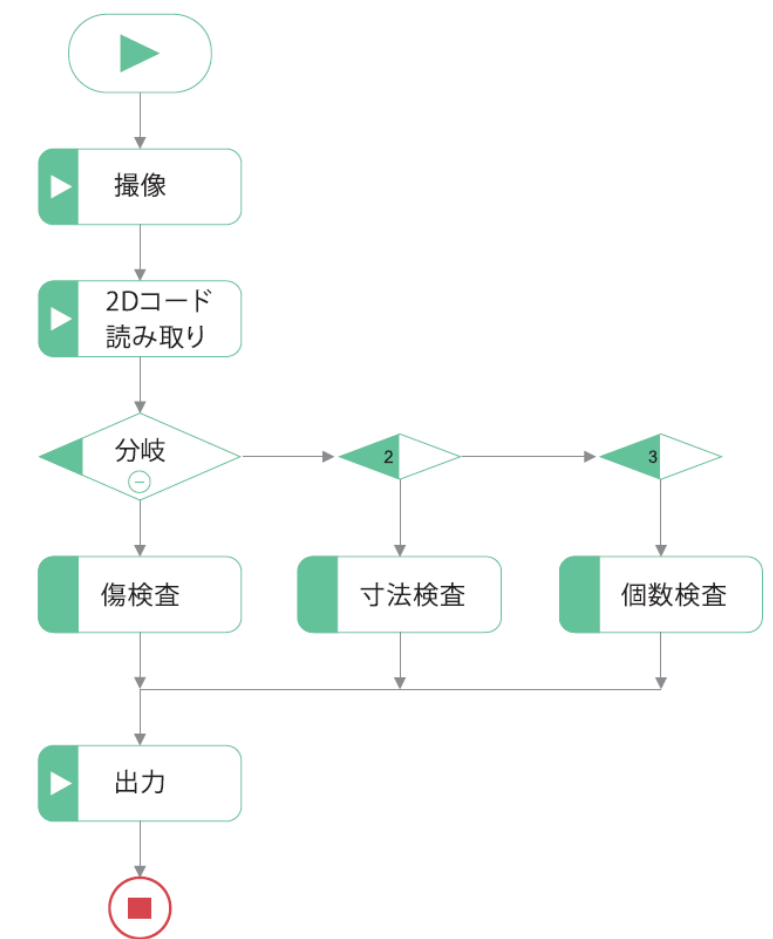
従業員	補助額	補助率
5人以下	100万円～750万円	《デジタル枠》 全事業者：3/2 《通常枠》 中小企業：1/2 小規模事業者：2/3 ※小規模事業者：従業員20人以下
6人～20人	100万円～1,000万円	
21人以上	100万円～1,250万円	

画像処理ソフトウェア

直感的に操作可能なフロー構造を採用。ノーコードで画像処理が作成可能です。

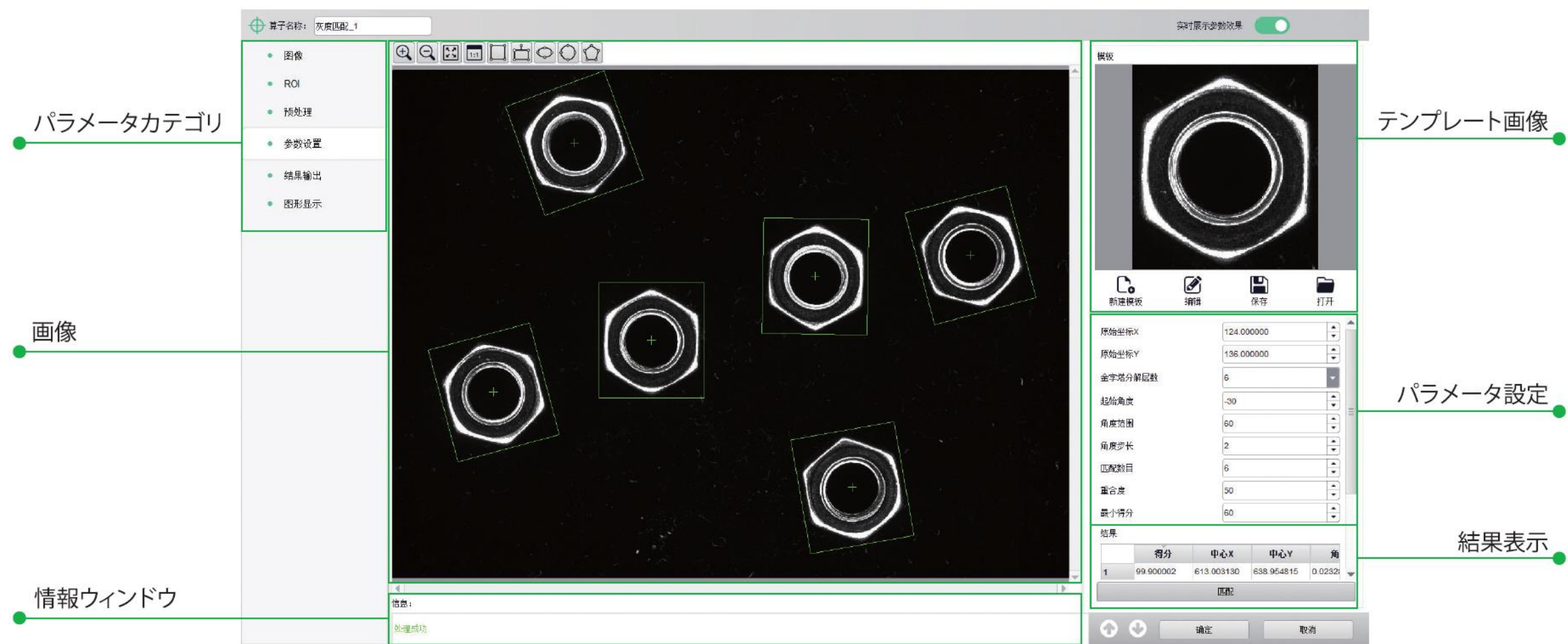


■ 分岐フローの構築例



検査構築や調整がしやすい機能を多数搭載。

■ 検査UI例



■ 便利な機能例

カスタムUI作成機能

UIパーツを多数用意しており、必要な情報を配置したUIを効率的に作成可能です。

通信モニタ機能

リアルタイムで通信内容をモニタすることができ、通信デバッグを簡単に行うことができます。

カスタムアルゴリズムの追加

オリジナルの処理をフローに追加することでき、拡張性高く画像処理の作成が可能です。

サブフロー機能

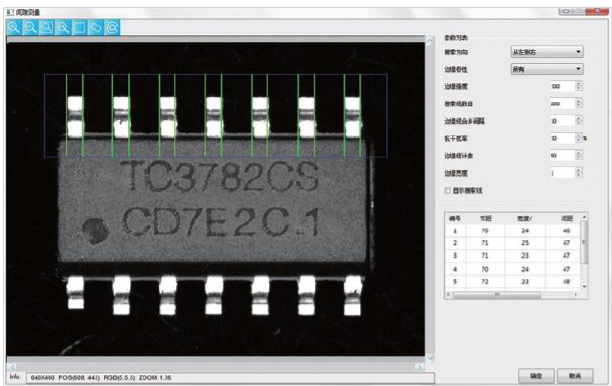
使用頻度の高い処理をモジュール化することができ、複雑な画像処理もフローの視認性やメンテナンス性を保ちながら作成できます。

基本的な画像処理機能を標準搭載。

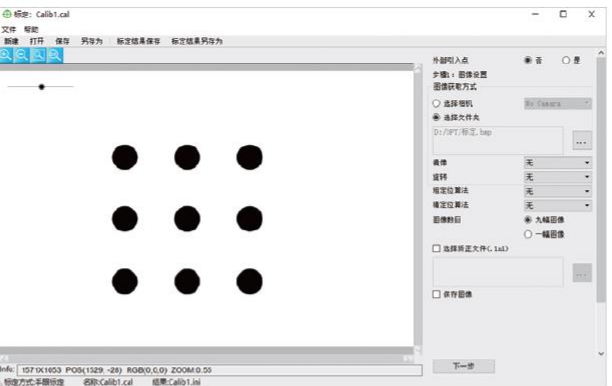
機能一覧		
カテゴリ	機能	説明
画像取得	カメラ取り込み	主要カメラとの互換性、GenICam、GigE Vision、USB3 Vision等に対応
	キャリブレーション	ハンドアイキャリブレーション、点間距離キャリブレーション、回転中心算出、ゲージキャリブレーション、歪み補正、オートフォーカス
画像強調	二値化	手動二値化、自動二値化 (Local Adoptive、大津法、等)、カラー二値化
	フィルタ	ガウシアン、メディアン、平均、差分、ラプラス、キャニー、ソーベル、ロバーツ、プレヴィット、ハイパス、ローパス、カスタム
	モルフォロジー	膨張、収縮、オープン、クローズ、グラディエント、トップ八度、ブラック法度、エッジ抽出、ヒットオアミス
	画像操作	画像算術演算、画像論理演算、連結、回転、ミラー、拡大・縮小、トリミング
	画像連結	特徴量に基づいた画像連結、カメラキャリブレーション情報に基づいた画像連結
	ヒストグラム均一化	ヒストグラム調整によるコントラスト強調
	輝度調整	画像の明るさ、コントラスト、ガンマ補正
	フォトメトリックステレオ	異なる角度から照明を照射した複数の画像情報を基にしたテクスチャ除去と凹凸データ構成
	シェーディング補正	2D画像からシェーディングを除去し、対象物の輪郭や特徴を際立たせる
	色マッピング操作	2D画像のLUTと色空間操作によって、高コントラスト・ワイドダイナミックレンジの色マッピングを実現
位置決め	点検出	検出点についてはFirst, Last,Bestから選択可能
	直線検出	最小自乗法、重み付き最小自乗法、ローカルフィッティング、ハフ変換
	円検出	最小面積、ハフ変換
	濃淡マッチング	平方差マッチング、正規化平方差マッチング、相関マッチング、正規化相関マッチング
	幾何マッチング	輪郭マッチング、特徴点マッチング、寸法形状マッチング
	色マッチング	正規化相関マッチング
	座標変換	水平移動、垂直移動、水平垂直移動、水平垂直回転

カテゴリ	機能	説明
計測	寸法計測	二つの平行な直線間の距離
	ピッチ計測	ROI内で見つかった複数の直線間の距離を計測 (ピッチ、幅、間隔)
	幾何計測	直線の回転角度、指定された3点/4点からなる角度、角の二等分線、中線、多角形の重心
		点間距離、点と直線の距離、線と線の距離、直線の中点 二直線の交点 点から直線におろした垂線の足
		多角形の面積、円(3点指定)、楕円(5点指定)、半径計測、ROI内面積測定、近似円、近似直線、近似楕円
	2D断面輪郭計測	輪郭の屈曲点、ピーク、ボトム、平均、エッジ、断面積、輪郭正規化(直線校正・投影校正・姿勢校正)
		輪郭二値化 (範囲外の点の除去)、輪郭修正 (凸部の除去)、輪郭平滑化、輪郭補完、輪郭線とXY平面の交点
		輪郭法線、輪郭曲率、輪郭対称性、線上ROIの基準面への投影線
	濃淡・色計測	最小濃淡値、最大濃淡値、平均濃淡値、標準偏差、色計測
表面検査	Blob分析	重心、サイズ、主軸方向、穴数、穴埋め、プロブフィルタ
	傷検査	検査対象物の表面に発生した周囲と異なる部分(異物、ムラ、気泡、擦り傷、等)を検出する
	エッジ検査	閉じたエッジ、閉じていないエッジ
	輪郭操作	輪郭分割、連結、フィルタ、ソート、比較
	輪郭抽出	ガウス曲線抽出、細線化
	学習検査	実物と理想モデルとを比較し、合否判定を行なう
	輪郭度	計測された輪郭と理想輪郭を比較して、違いを判定する
	境界輪郭一括抽出	閉じた境界輪郭を一括で抽出
	エッジ欠陥検出	エッジ部分に発生したバリ等の急峻な変化を検出する

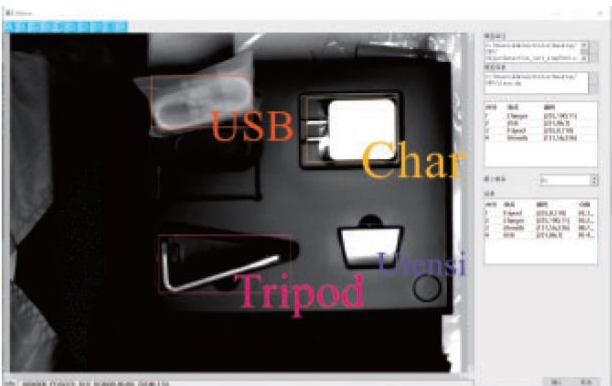
画像処理機能を組み合わせ、様々な検査適用が可能です。



ピッチ計測

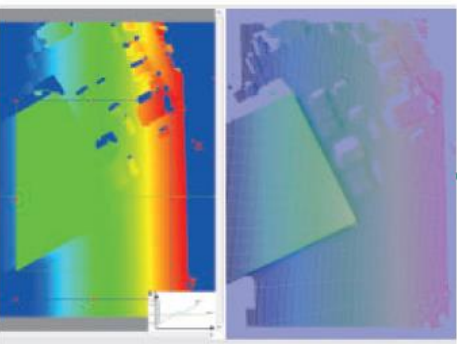


オートキャリブレーション

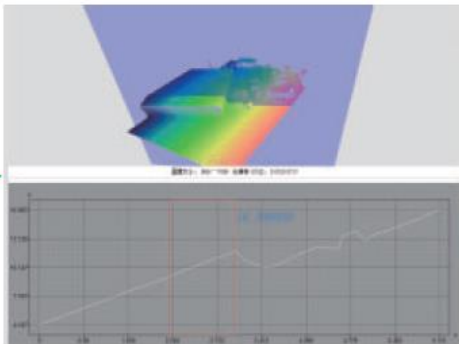


DLを用いた物体検出

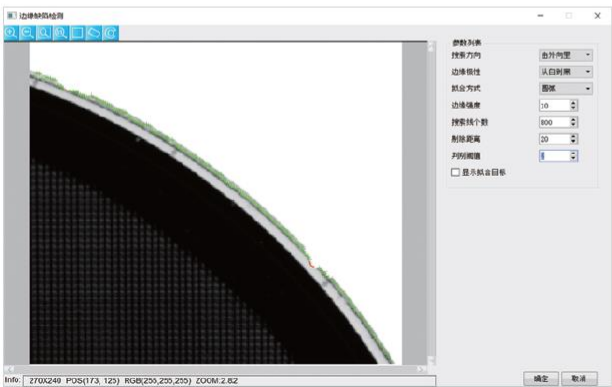
三次元プロファイル計測



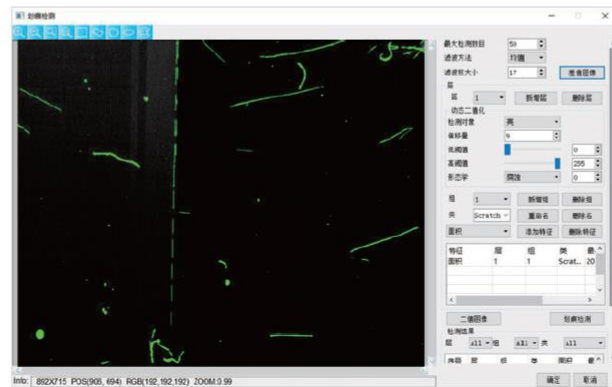
生画像



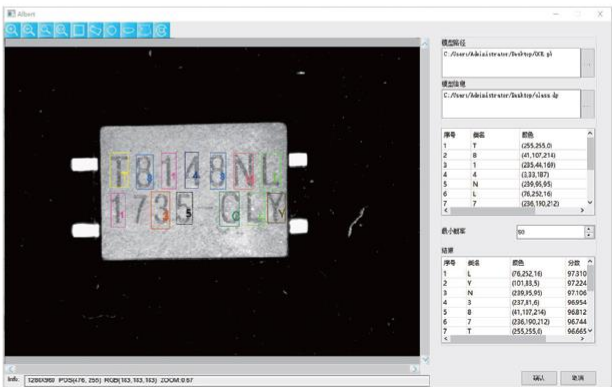
処理画像



エッジ部の欠陥検出

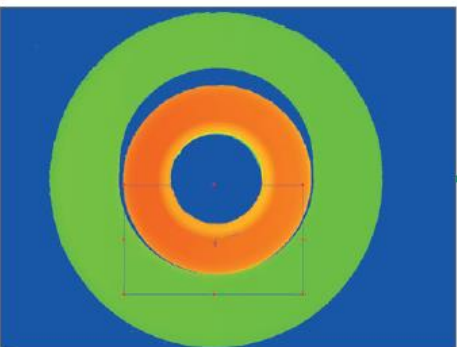


傷検査

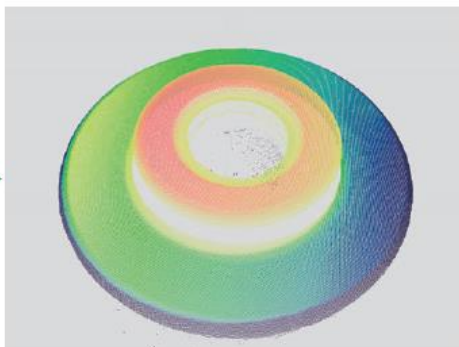


DLを用いたOCR

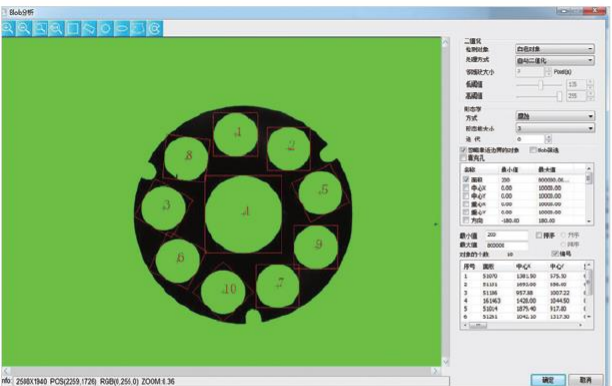
三次元高さ測定



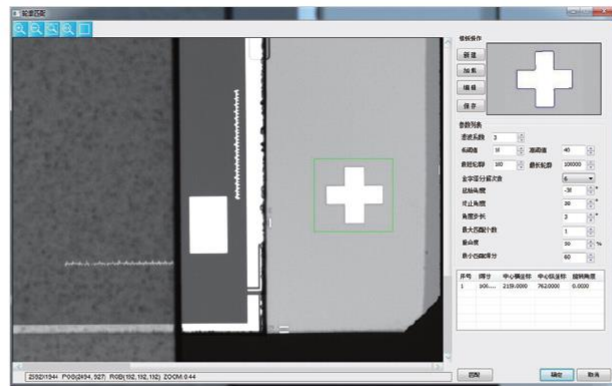
生画像



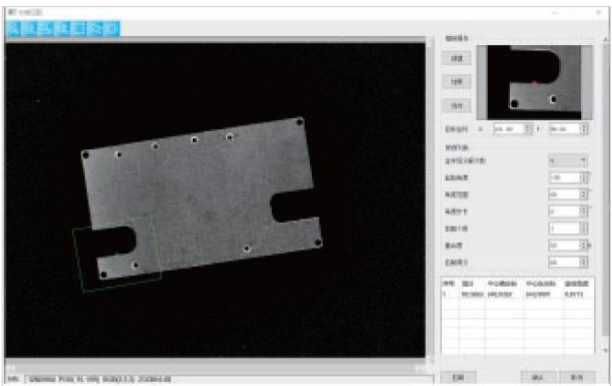
処理画像



Blob分析



輪郭マッチング



濃淡マッチング



使えるAIを皆様のもとへ

参考資料

Gemini eye SV



教えた不良は見逃さない。高速・高精度外観検査 AI



Gemini eye SV

ジェミニ・アイ・エスバイ

Feature -1

高速・高精度

2020年最新 AI アルゴリズム搭載。
2018 年に比べ、メモリ使用量 1/8、
処理スピード 5 倍で高精度な
AI モデルを作成。

Feature -2

不良の分類

不良は 100 種類以上学習可能。
種類別に判定結果を
表示できます。

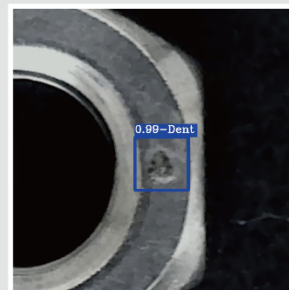
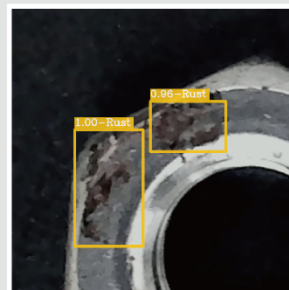
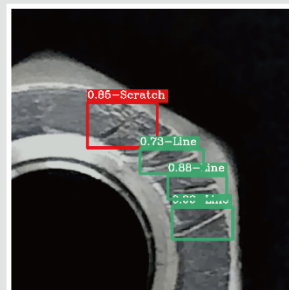
Feature -3

簡単な設定

設定するパラメータは 3 つだけ。
お客様の課題に合わせて
さらに高度な設定も可能です。

"どれだけ自信があるのか" を確信度で表示。

AI の判断を視覚的に
理解できます。



1枚あたりの作業時間は2秒。

オリジナルツールで
簡単に学習用
アノテーションデータが
作成できます。



操作画面説明

設定は3つのパラメータだけ。追加学習も簡単。



① パラメータの選択

3つのパラメータを選択するだけです。
検査する画像の解像度に合った「モード」を選択するだけで、自動的にパラメータを調整。細かな設定は必要ありません。

② 追加学習

作成済みのAIモデルフォルダを選択するだけで、簡単に追加学習を行えます。

③ 学習時間

1種類の不良100枚程度を学習させると、2時間前後で学習が終了します。

AIの精度を数値、グラフ、画像で多角的に検証

必須 AIモデルフォルダ

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop\expo\SV_material\model\model_e

必須 検証画像用フォルダ

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop\expo\SV_material\images\for_demo

任意 確信度のしきい値

打痕 85 更新

擦り傷 50

打痕 85

サビ 50

必須 検証結果保存フォルダ

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop\expo\SV_material\validation

検証

リセット

検証日時: 2020/10/21 04:26:59 平均検出時間: 0.52 秒/枚

■検出総合評価

	ラベルあり画像	ラベルなし画像	総合結果
正解枚数 / 検査枚数	114 / 114 (100%)	35 / 35 (100%)	149 / 149 (100%)
過検出枚数 / 検査枚数	0 / 114 (0%)	0 / 35 (0%)	0 / 149 (0%)

■検出内訳

	擦り傷	打痕	サビ	線傷
正解個数 / ラベル個数	38 / 38 (100%)	39 / 39 (100%)	72 / 72 (100%)	57 / 57 (100%)
過検出個数	0	0	0	0
総検出個数	38	39	72	57

■検出結果詳細

検査画像名: test_34.jpg

判定結果: 線傷・擦り傷

No	検出結果	ラベル	確信度	判定結果
201	線傷	線傷	0.98	正解
202	線傷	線傷	0.96	正解
203	線傷	線傷	0.93	正解
204	擦り傷	擦り傷	0.87	正解

● 検出結果 ○ ラベル

擦り傷 打痕 サビ 線傷 検出なし

[検出結果 (擦り傷)] 38 枚

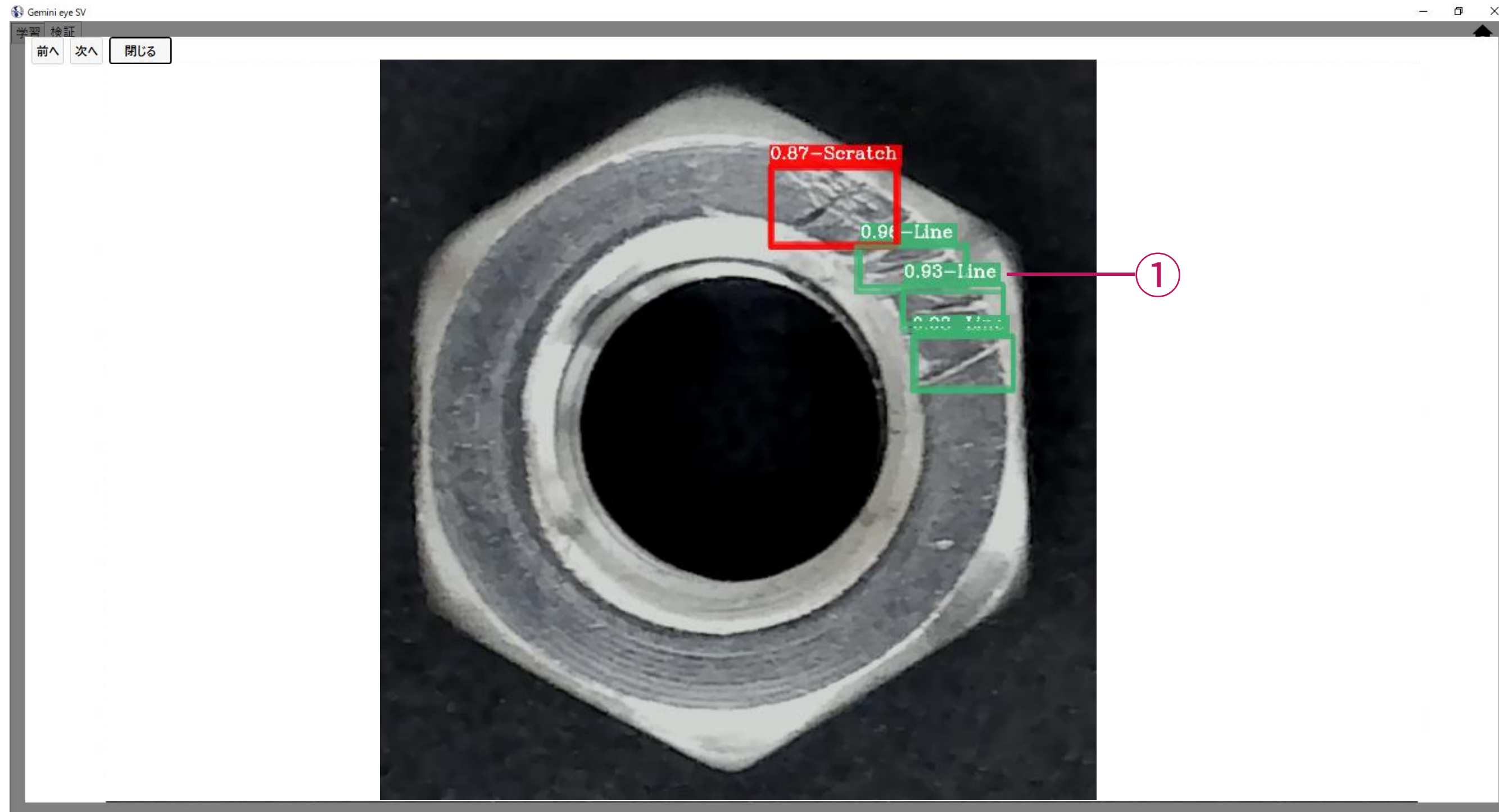
① 不良ごとのしきい値設定
登録した不良それぞれに対し、しきい値を設定できます。

② 見やすいサマリー
正しく検出ができているか、結果のサマリーを確認できます。不良ごとに正解率を確認できます。

③ 検出結果詳細
検証画像ごとにどのような検出や判定をしたのか、詳細を確認できます。

④ サムネイル表示
AIがどこを検出したのか、不良ごとに画像で確認することが出来ます。

不良箇所を枠囲いし、不良の種別を表示



① 不良を種類別に検出

AIが学習した不良を種類別に表示します。確信度を同時に表示し、どれくらい判断に自身があるのかもひと目で分かります。



作ったAIモデルですぐに運用開始

必須

AIモデルフォルダ

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop\expo\SV_material\model\model_expo

どちらか必須

監視方法

フォルダ監視

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop\expo\SV_material\monitor

カメラ監視

Logicool BRIO

3840x2160

任意

確信度のしきい値

打痕

78

更新

擦り傷 50

打痕 78

サビ 50

必須

判定ログフォルダ

フォルダを選択

C:\Users\ryofu\Desktop\00_nuno\operation

運用

リセット

②

① フォルダ or カメラ監視

1. 指定のフォルダに保存された画像をAIが判定する方法

2. 接続したカメラの映像をAIが判定する方法

の2通りから選べます。現場に合わせ、運用方法をご選択ください。

② 監視状況の可視化

カメラ監視中にはAIの判定の様子を確認できます。

不良品は種類ごとに枠で囲われて判定されます。



Gemini eye Integration



外観検査 AI の決定版。教師あり & なし統合外観検査 AI



Gemini eye

INTEGRATION

ジェミニ・アイ・インテグレーション

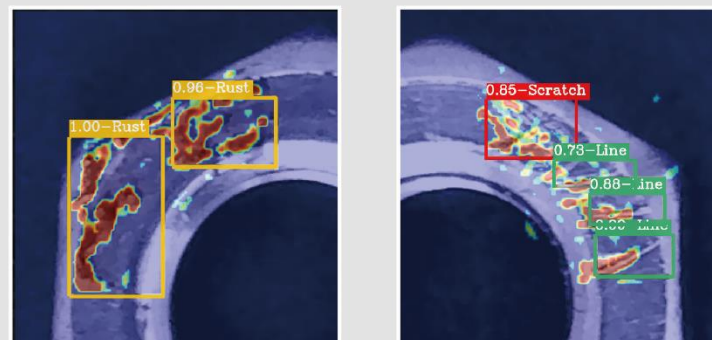
Feature -1

2つのソリューションを統合

未知の不良を検出する「Gemini eye」、
既知の不良を検出する
「Gemini eye SV」を統合。多角的で
より高確度な判定が可能になります。

判断根拠の可視化。

不良箇所をヒートマップで
表示するとともに、
ボックスで不良の種類を
教えてくれます。



Feature -2

未知の不良を検出

良品のみで学習が可能な
「Gemini eye」。
"いつもと違う"未知の不良を
検出します。

Feature -3

既知の不良を検出

学習済みの不良品を検出する
「Gemini eye SV」。
既知の不良を高精度に
検出します。

追加の作業は不要。

それぞれで作成したAIモデルを
そのまま利用可能。
Integration用に追加の作業は
必要ありません。



Gemini eye



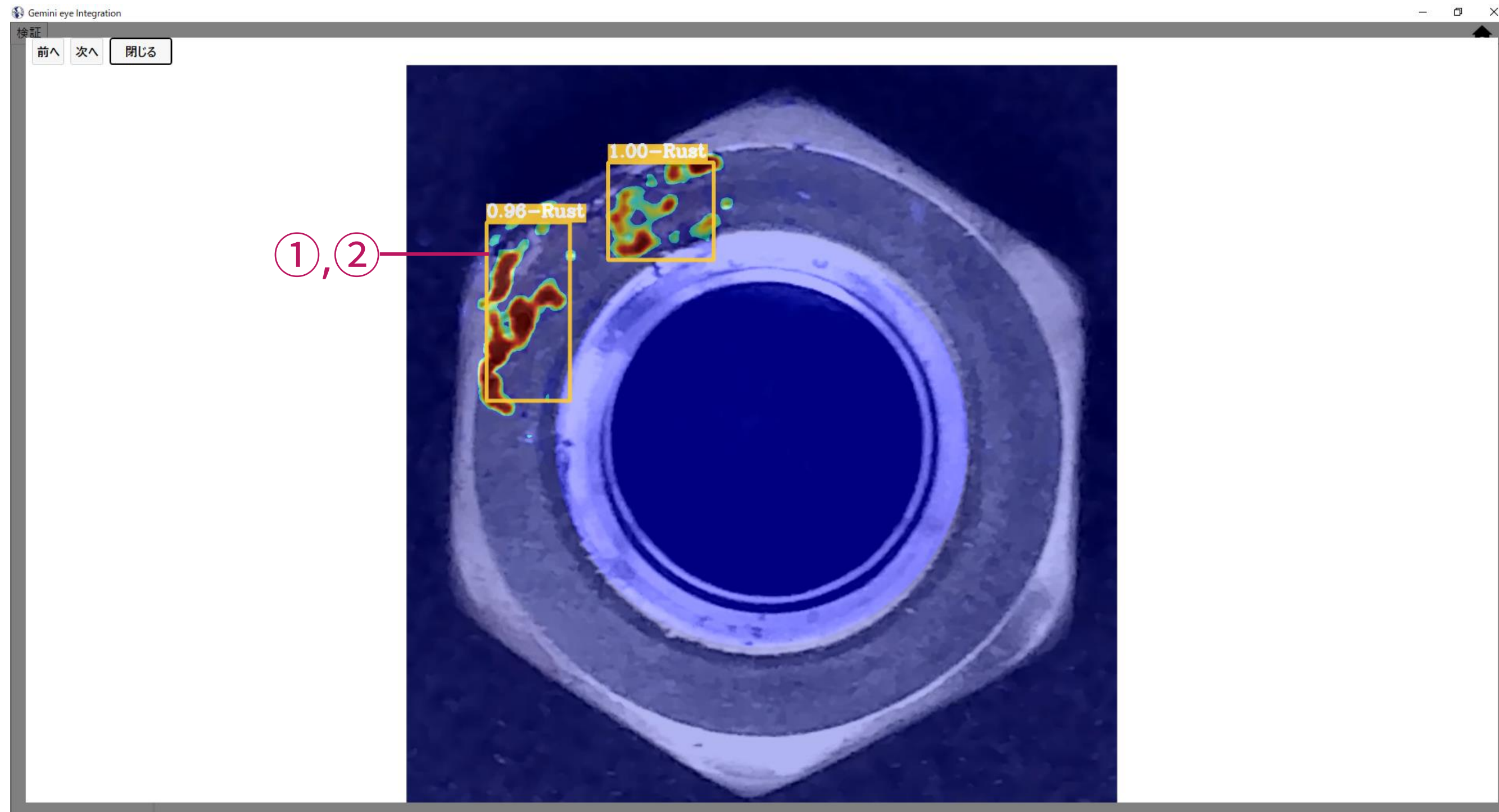
Gemini eye **SV**



操作画面説明



ヒートマップ、ボックスによる不良種別を表示



① ヒートマップ表示

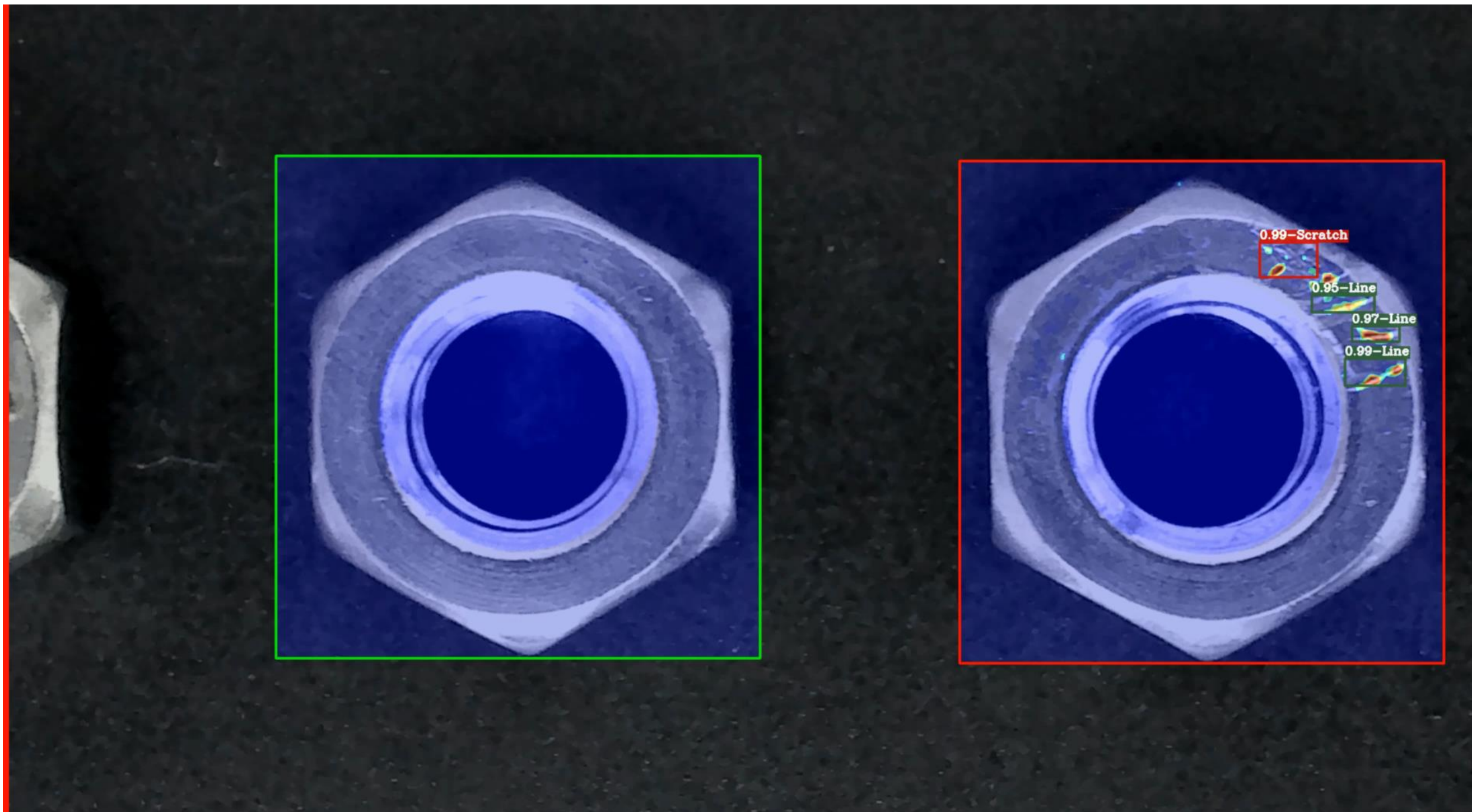
AIが異常だと反応した箇所をヒートマップで表示します。青から赤くなるほど強い反応を示しています。

② 不良を種類別に検出

AIが学習した不良を種類別に表示します。確信度を同時に表示し、どれくらい判断に自身があるのかもひと目で分かります。



「未知の不良」、「既知の不良」双方を高確度に検出



① ヒートマップ表示

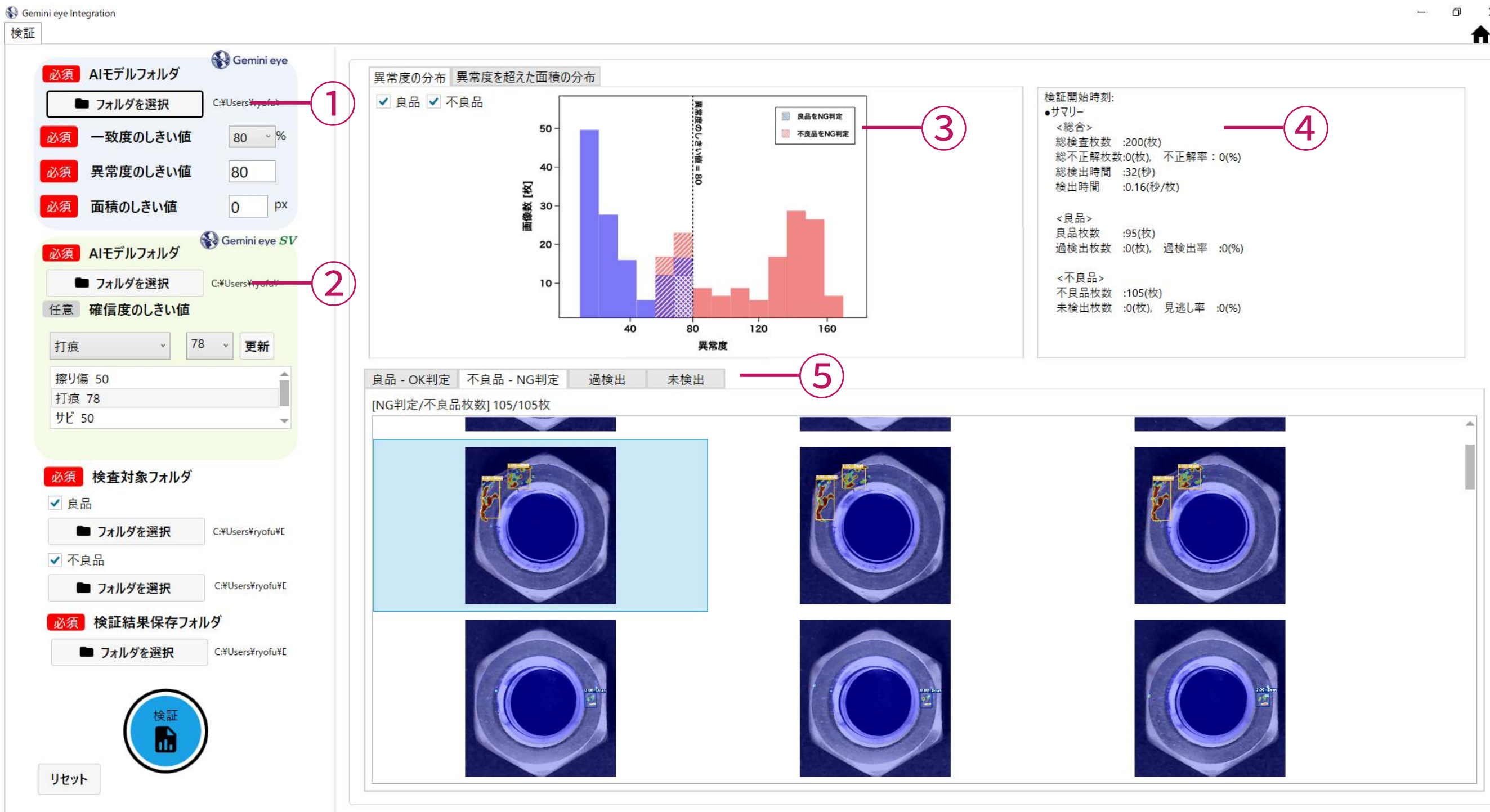
AIが異常だと反応した箇所をヒートマップで表示します。青から赤くなるほど強い反応を示しています。

② 不良を種類別に検出

AIが学習した不良を種類別に表示します。確信度を同時に表示し、どれくらい判断に自身があるのかもひと目で分かります。



2つのAIを統合。総合的な精度を数値、グラフ、画像で検証



① Gemini eye

Gemini eyeで作成をしたAIモデルをそのままご利用頂けます。設定項目も同じです。

② Gemini eye SV

Gemini eye SVで作成をしたAIモデルをそのままご利用頂けます。設定項目も同じです。

③ ヒストグラム表示

良品、不良品別に、2つのAIがどのように判断をしたのかヒストグラムで確認できます。

④ 見やすいサマリー

結果のサマリーを表示します。正解率を具体的な数字で確認できます。

⑤ サムネイル表示

AIの判定結果を視覚的に表示。良品、不良品ごとにタブで切り替えて確認できます。

Gemini eye for Edge

コンパクトで高性能な端末で外観検査AIを運用



Gemini eye *for Edge*

ジェミニ・アイ・フォー・エッジ

Feature -1

マルチビュー

複数台のエッジ端末を用いて、
1つのPCで同時監視。
台数に制限はなく
簡単に拡張できます。

Feature -2

50msの高速判定処理^{※1}

ハードウェア、ソフトウェアの
最適化することで、
高速なAI処理を
実現しています。

Feature -3

無線通信対応

機能を拡張することで、
無線通信での利用が可能に。
検査ライン周りの配線やルータ
配置に困ることはありません。

様々なエッジ端末に対応

NVIDIA Jetson シリーズ、
Intel Movidius Myriad に正式対応。
現場のニーズに合わせ、希望の
製品にて運用ができます。



NVIDIA Inception Program 認定

NVIDIA社の最新
GPUハードウェアの
利用や技術サポートを
受けています。



※1 1280x720(HD)の動画を用いて、検査対象 200x200 を処理。

Gemini eyeの拡張ソリューション

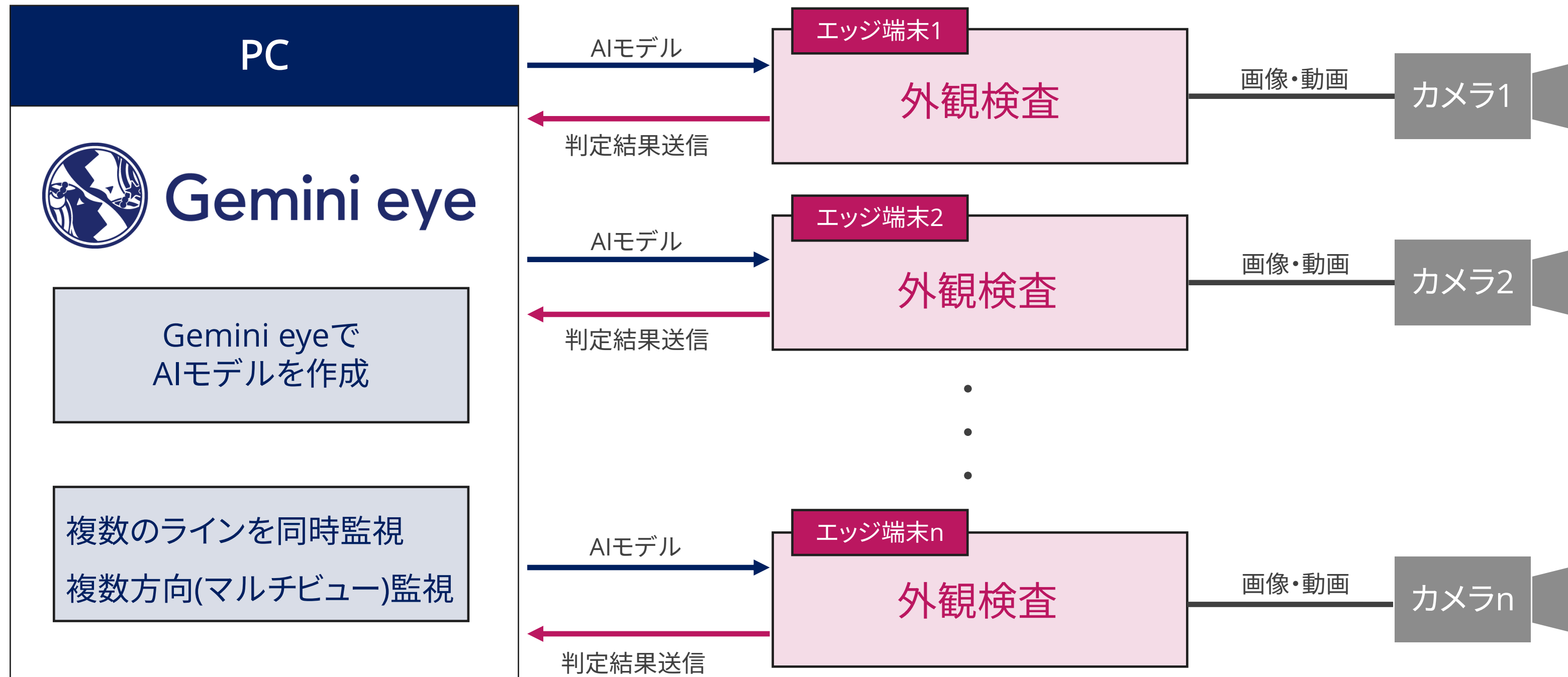


Gemini eye ×



コンパクトで高性能なエッジ端末で、マルチビュー監視

エッジ端末での判定結果をPCで一括監視



Gemini eyeの運用機能をエッジ端末で実現



① 作成済みのモデル利用

Gemini eyeで作成をしたAIモデルを用いて外観検査の運用ができます。

② カメラ監視

エッジ端末に接続したカメラで運用ができます。最大4K画質の動画をリアルタイム判定します。

③ しきい値

Gemini eye同様にしきい値を設定します。エッジ端末特有の項目はありません。

AIモデルフォルダ ①

ファイルを選択 4 ファイル

テンプレート画像

ファイルを選択 metal_nut.png

判定ログフォルダ名

metal_nut

監視方法

☐ フォルダ監視

ファイルを選択 選択されていません

☒ カメラ監視 ②

解像度 1280 × 720

しきい値 ③

一致度のしきい値 86 %

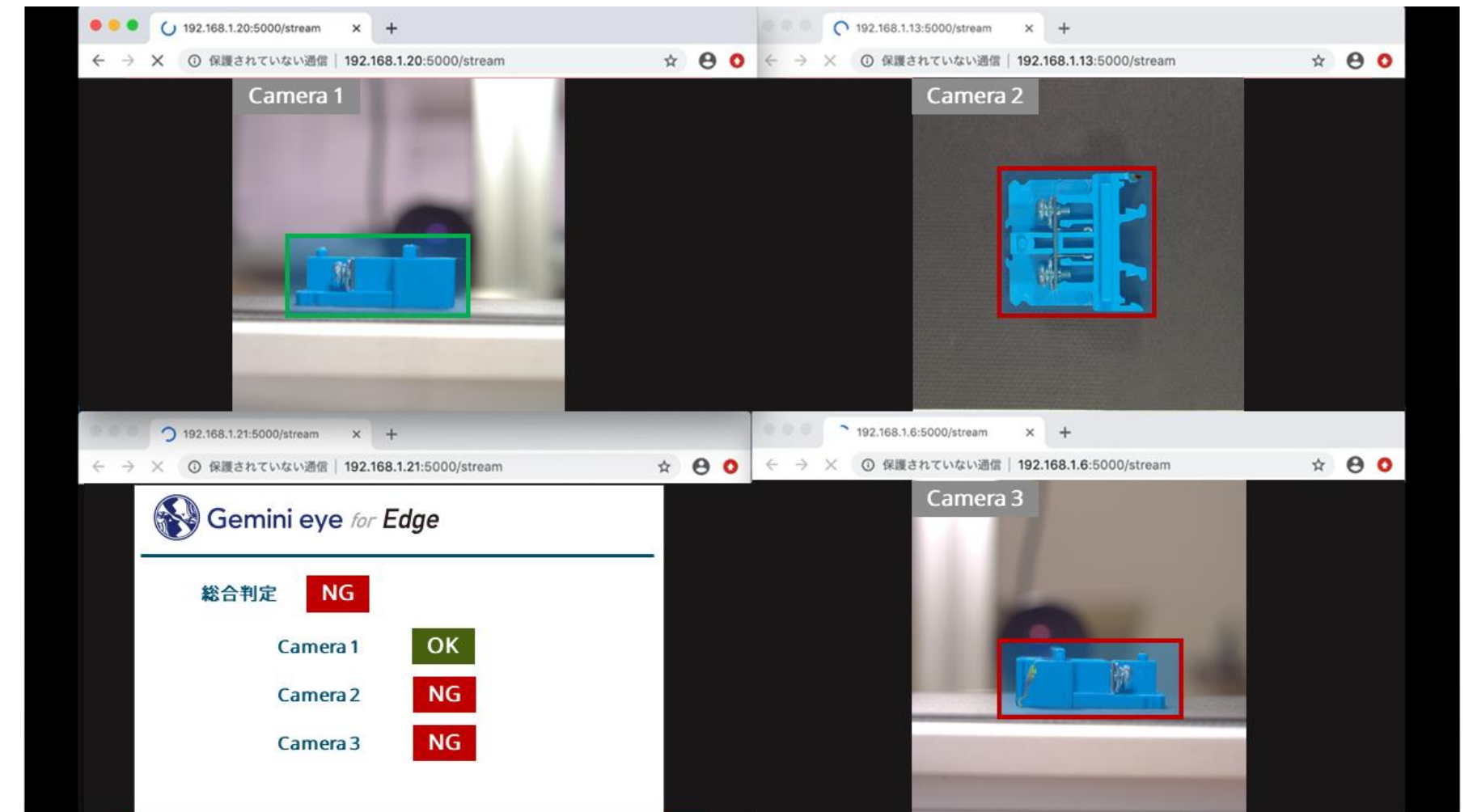
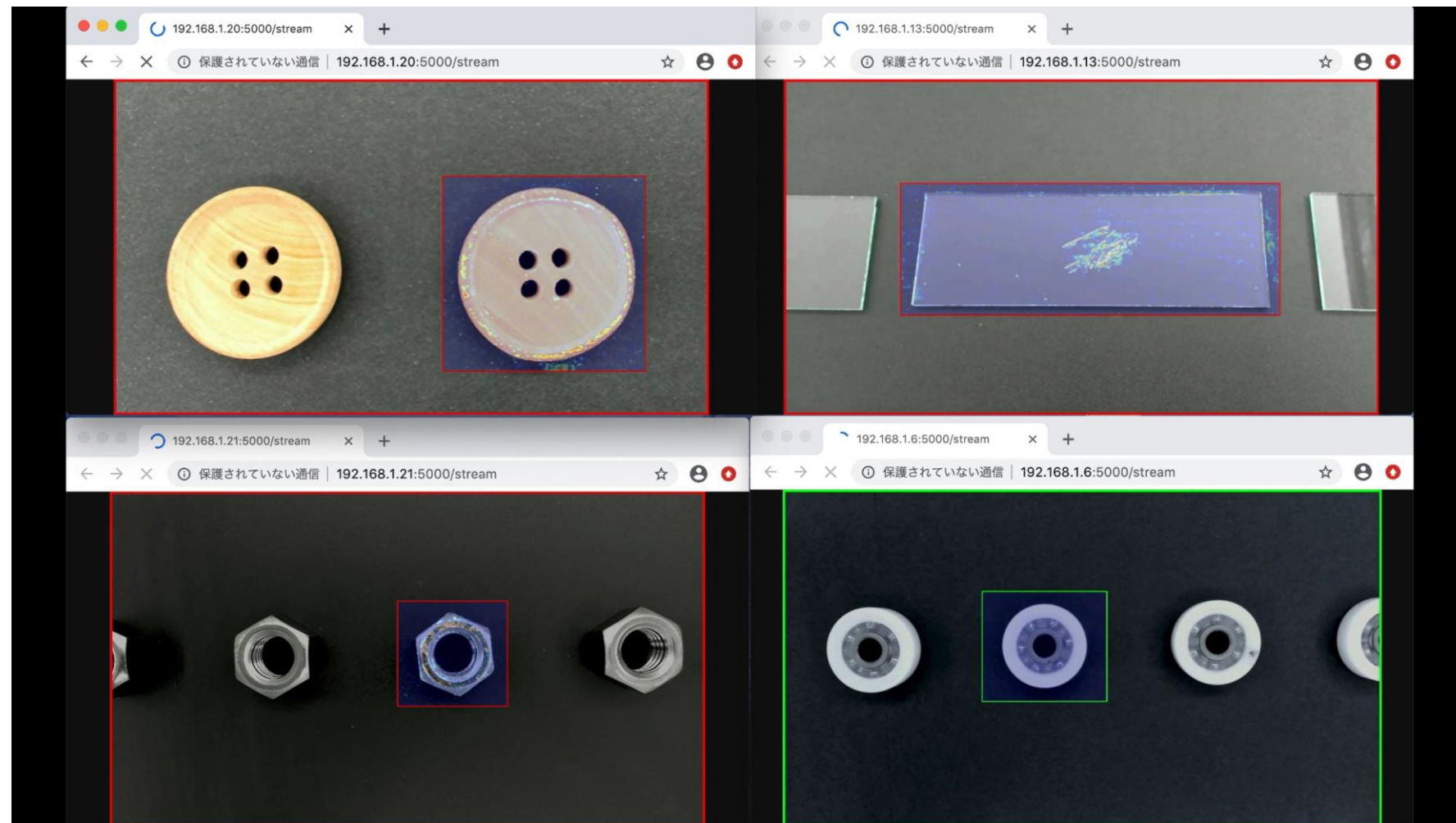
異常度のしきい値 120

総面積のしきい値 0 px

RESET

START

複数のラインの同時検査、複数方向からの総合判定など、多彩に利用可能



PLCを通じて様々な機器やシステムとの連携が可能

PLCを通じ、ラインの停止や排出機構との連携をスムーズに行えます。



パートナー制度

Geminiシリーズの販売提携企業様向けのプログラムです。

	紹介パートナー（エージェント）	販売店（ディストリビューター）
概要	当社製品の導入を検討する企業様を 当社へ紹介する制度です。 ご契約を頂いた際は、当社より所定の紹介手数料を お支払いします。	当社製品を検討する企業様に対して、 営業活動及び製品のリセールを行っていただく制度です。 導入時の説明～サポートまで幅広くご対応いただくため、 幅広い知識が求められます。
加盟条件	<ul style="list-style-type: none">当社製品を理解し、適切な紹介ができること	<ul style="list-style-type: none">当社製品を理解し、適切な紹介ができること外観検査や画像処理等の基本的な知識を有すること一定の販売数量が見込めること
販売サポート	<ul style="list-style-type: none">製品パンフレットの提供営業同行Gemini all inclusive 無料ライセンス(1ヶ月)	<ul style="list-style-type: none">契約書雛形等参考資料の提供販売店様向け製品理解勉強会の開催製品パンフレットの提供Gemini all inclusive 無料ライセンス
コミッション・仕入価格	契約金額の最大20%	個別検討
備考	テストライセンス契約、保守・サポート契約はコミッションの対象 外です。	当社と販売店様で保守・サポート契約を締結します。

Geminiシリーズを使い製品開発を行う企業様向けのプログラムです。

	開発パートナー
概要	自社製品にGemini eyeを搭載し、販売するためのプランです。 オリジナルの外観検査ソリューションの開発が可能です。
加盟条件	<ul style="list-style-type: none">・ソフトウェア開発、システム開発、FAのいずれかを主な業務としている企業であること・社内にシステム開発の担当者がいること・外観検査や画像処理等の基本的な知識を有すること・一定の販売数量が見込めること
料金	お問い合わせください。
提供方式	SDK提供

対象	動作環境
OS	Microsoft Windows 10 64-bit 日本語版 ※他バージョンについてはご相談ください。
CPU	第8世代以降のCore i7,Core i5、第2世代以降のRyzen
GPU	NVIDIA製GPU Turing世代以降 メモリ8GB以上
RAM	16GB以上
ネットワーク	オフラインで利用可能

それぞれの検査手法には特徴があり、お客様に最適な手法の選択が重要です。

項目	中項目	人間(目視検査)	AI(良品学習)	AI(不良品学習)	画像処理(良品定義)	画像処理(不良定義)
概要	当社製品	-	Gemini eye	Gemini eye SV	画像処理ソフトウェア	画像処理ソフトウェア
	検出方法	決められた定義や限度見本をもとに不良を検出します。	バラツキを含めて 良品の特徴を自動で学習 し、「いつもと違う」(≡不良品)を検出します。	不良箇所の特徴を自動で学習 し、同じような不良が現れた際に検出をします。	ノイズ除去やパターンマッチングなどの処理で 良品の特徴を手動で定義 し、外れたものを検出します。	色や輝度、ピクセル数などのルールで 不良品の特徴を手動で定義 し、合致したものを検出します。
	メリット	・設備投資が少なく開始可能。 ・柔軟に運用変更可能。	・少ない設定項目で複雑な良品を学習可能。 ・不良品を集めることなく検査構築が可能。	・少ない設定項目で複雑な不良品を学習可能。 ・素材や背景に関わらず適用可能。	・少ない設定で様々な不良種の検査に対応可能。 ・品種の拡大展開が容易。	・処理内容の理解が容易。
	デメリット	・検査員の技量に依存する。 ・採用、教育に時間、コストがかかる。	・検査精度が良品データに依存する。 ・判定結果の原因追及が難しい。	・不良品ごとに多量のデータ準備が必要。 ・検査精度が不良品データに依存する。 ・判定結果の原因追及が難しい。	・処理の構築、設定調整に専門知識が必要。 ・良品バラツキが大きいと適用が難しい。	・処理の構築、設定調整に専門知識が必要。 ・不良の定義と特徴を把握している必要がある。
特徴	調整の自由度	○ 微調整可能。	△ 異常度でしきい値調整を行う。	△ 確信度でしきい値調整を行う。	○ 設定したパラメータに従い調整を行う。	○ 設定したパラメータに従い調整を行う。
	扱いやすさ	△ スキルに合わせた教育が必要。	○ 専門知識不要。	○ 専門知識不要。	× 専門知識必要。	× 専門知識必要。
	処理の理解しやすさ	△ 現場の検査員によって変動。	× 直感的な理解は難しい。	× 直感的な理解は難しい。	△～○ 理解しやすいが、高度な内容を含むことも多い。	○ 理解しやすい。
	判定速度	× 数 秒	△～○ 0.3 ～ 1.0 秒	△ 1.0 ～ 3.0 秒	○ 0.03 ～ 0.3 秒	○ 0.01 ～ 0.1 秒
	未知の不良	○	○	×	○	×



使えるAIを皆様のもとへ